



EOS | HDTM

Evolution of Sound

ワイヤレス ドライブスルー コミュニケーション システム

操作説明書

HM Electronics, Inc.
2848 Whiptail Loop
Carlsbad, CA 92010, USA

Phone: 1-800-848-4468
Fax: 858-552-0172
Website: www.hme.com
Email: support@hme.com

HME# 400G699J
Rev A 03/02/18



目次

EOS HD 装置	1
ベースステーション	2
ベースステーション表示画面	3
ヘッドセット	3
機能とコントロール	4
ヘッドセットの装着方法	4
ヘッドセットコントロールの使用方法	4
ヘッドセットの登録	5
バッテリーの取り外しと交換	8
バッテリー充電器	9
EOS HD の操作	10
ヘッドセット指示言語の変更	10
ヘッドセット状態の取得	10
シングルレーン操作	11
デュアルレーン操作	12
タンデム操作	13
店舗内コミュニケーション	13
スピード-チーム オペレータ モード	14
メッセージセンターの操作	15
顧客歓迎メッセージの設定	17
リマインダーメッセージの設定	21
警告メッセージの設定	27
スケジュール時間	34
音量調整	35
入/出力音量調整	35
天井スピーカー音量	38
ライン入出力	38
ヘッドセットへの車両到着音	38
有線バックアップシステムの操作	39
車両検出	40
店舗の設定	41
ネットワークの設定	49
基本的なネットワークの設定	49
詳細ネットワークの設定	51
メール/テキスト	54
PC ナビゲーション	57
装置の手入れ	59
適切な装置の扱い方	59
装置のクリーニング	59
問題が発生した場合	60
トラブルシューティング	60
サービスコール	61
ベースステーション内部コントロールとインジケータ	61
診断	63
装置仕様	64
重要注意事項	65
付録	67
複数レーン動作	67
Dedicated Mode (専用モード)	67
複数レーンメッセージセンター設定	68
顧客歓迎メッセージ	68
リマインダーメッセージ	68
警告メッセージ	68
EOS HD メニューのアクセス制御	69

図と図表

図 1. EOS HD 標準装置	1
図 2. ベースステーションフロントパネルの機能	2
図 3. ヘッドセット コントロール	4
図 4. 正しいヘッドセットの装着	4
図 5. ヘッドセットバッテリー リリースラッチ	8
図 6. 充電器	9
図 7. 一般的なタンデム式ドライブスルー	13
図 8. ベースステーション下部の有線バックアップ用スイッチ	39
図 9. ベースステーションの内部機能	62

以下に示すように、ヘッドセットにはスペイン語とフランス語による基本的な操作指示が提供されています。言語変更の手順については、[10 ページ](#)を参照してください。

Español

El COM6000BP proporciona información que indica el estado del funcionamiento del mismo en español como es: **Unidad #, Batería cargada, Batería semi-cargada, Batería baja, Línea uno, Línea dos, Fuera de alcance, Reemplazar batería y Unidad desactivado.**

Para cambiar el idioma de la información que se escucha en la diadema, de inglés a español, siga los siguientes pasos: Oprima y mantenga presionado el botón “A1”, así como el botón para reducir el volumen “▼” y el botón para encender el comunicador “PWR” al mismo tiempo, hasta que el comunicador se encienda.

Français

COM6000BP fournit les sélections de fonctionnement fondamentales suivantes en français: **Ceinture-sac #, Fonction inactive, Batterie charge, Batterie demi-charge, Batterie basse-charge, Voie un, Voie deux, □hors d□entente, Remplace batterie et Ceinture-sac inactive.**

Pour changer les indications de l'anglais au français, appuyer et tenir le “A1” et le volume en bas “▼” en même temps, tout en appuyant sur le bouton d’allumage “PWR”.

HM Electronics, Inc.、NECグループは、オリジナルの英語版からのインストールおよび / または出版物の運用による誤った翻訳のために生じる機器の誤操作に対して一切の責任を負いません。

本書記載のイラストは実物の装置と若干異なり、形状などが一部省略されている場合があります。

© 2018 HM Electronics, Inc.
HME のロゴと製品名は HM Electronics, Inc の登録商標です。All rights reserved.

US Patent 7,920,539 B2

使用上の重要注意事項

注意事項: ヘッドフォンやヘッドセットのような、一般的な音響機器の仕様と同じく、誤った使用方法や、過度の大音量等、耳を刺激するような使用方法是、聴力を損ない、喪失する可能性があります。以下にあげる、安全に使用するための注意事項を守らない場合、聴力を損なうことがあります。

聴力へのダメージを防ぐために: ヘッドセットレシーバーのボリューム過度の大音量で使用すると、聴力の喪失の可能性があります。ヘッドセットの電源をいれて、適度な音量であるか使用前に確認をしてください。ヘッドセットの音量調節ボタン(矢印マークのボタン)を使用し、音量を調整してください。

過度な音量で、長時間にわたっての連続的に使用すると、次第に音量は普通に聞こえてきますが、聴力にダメージを与え続けます。耳鳴りや会話が聞きりにくくなった場合は、使用を直ちに中止し、聴力の検査を受けてください。聴力へ影響を及ぼす前に、大音量でのご使用は極力お控えください。

次の注意事項を守り、聴力へのダメージを受けないようにしてください。

- ・高音量でのヘッドセットの使用回数を制限してください。
- ・周囲の雑音をブロックするための、音量を上げることはお控えください。
- ・周囲の人たちの会話が聞き取れない場合は、ヘッドセットの音量を下げてください。



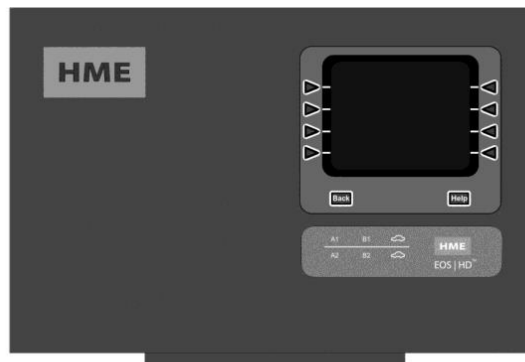
EOS|HD 装置

EOS|HD は、主にファーストフードレストラン向けのコミュニケーションシステムです。下記に示される装置は、EOS|HD の標準装置です。オプション装置は、お客様の販売代理店からご注文ください。

注:

購入時の個々の店舗
のご要望によって装置
の数は異なります。
追加の装置は、下記
のリストからご注文く
ださい。

日本国内で購入できる
ものについては、販売
代理店にご確認くだ
さい。



ベースステーション

オプション装置

装置	モデル番号
ヘッドセット	HS6200
ヘッドセット用バッテリー	BAT51
ヘッドセット耳あて	なし
ヘッドセット イヤホン カバー(使い捨て)	なし
電話インターフェース	TI6000
車両検出器基板	VDB102
車両検出器基板(リレー付き)	VDB102R
車両検出器ループ(地下)	VDL100
薄型スピーカー	SP2500LP
天井スピーカー	MM100
マイク	DM5
モード スイッチ(デュアルレーン)	MS10
リモート スピードチーム スイッチ	SW2
スイッチャー回路基板	なし
アンテナ受信エリア拡張キット	EC10
拡張受信エリア アンテナキット	EC20
リモート アンテナキット (6 フィート/1.83 メートル ケーブル付き)	ANT20-6
リモート アンテナキット (30 フィート / 9.14 メートル ケーブル付き)	ANT20-30



ヘッドセット



バッテリー



バッテリー充電器



スピーカー



マイクロフォン

図 1. EOS|HD 標準装置

ベースステーション

ドライブスルーコミュニケーションシステムの機能はすべて、ベースステーションを通じて動作します。ベースステーションはEOS|HDの心臓部です。

ベースステーション本体外部の機能は図2と図3に、内部コントロールとインジケータは図9に示されています。

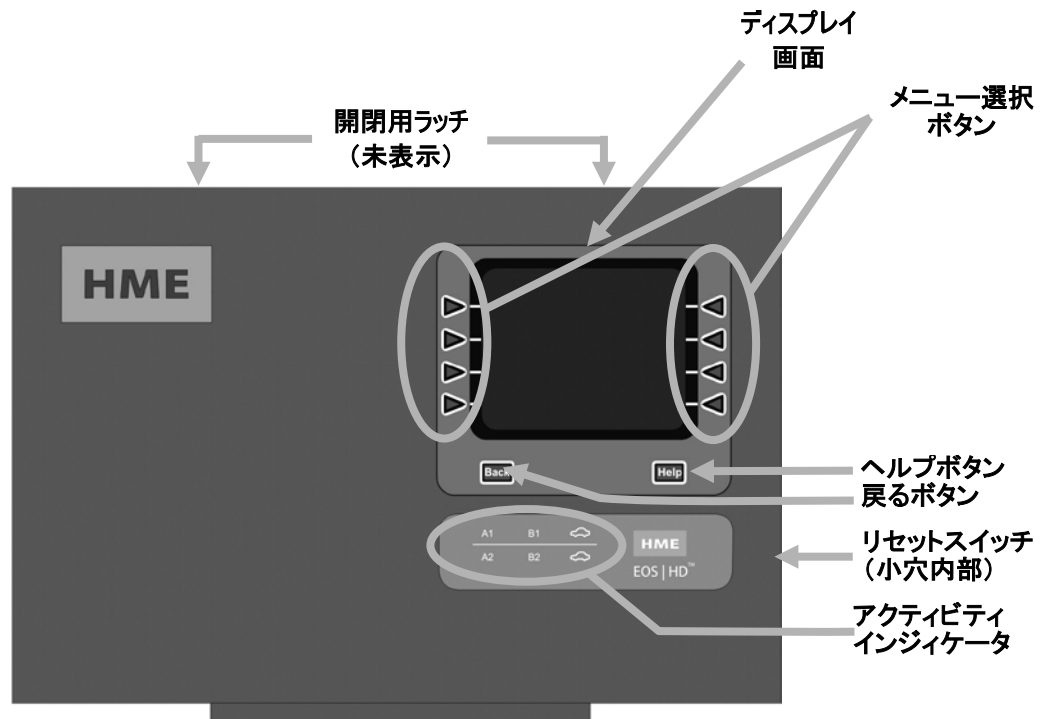


図 2. ベースステーション フロント パネルの機能

- メニュー選択ボタンは、ディスプレイ画面のメニューから選択を行なう際に使用します。
- Help(ヘルプ)ボタンを押すと、EOS|HDに問題が生じた場合に必要な情報を入手できます。
- Back(戻る)ボタンを押すと、前のメニュー画面に戻ることができます。
- アクティビティ インジケータのランプは以下のように点灯します。

線の上: レーン 1 アクティビティ(シングルまたはデュアルレーン操作)

- ・シングルレーン操作のヘッドセットまたはデュアルレーン操作のレーン 1 ヘッドセットで、Aボタンが押されると、A1 ランプが点灯します。
- ・シングルレーン操作のヘッドセットまたはデュアルレーン操作のレーン 1 ヘッドセットで、Bボタンが押されると、B1 ランプが点灯します。
- ・シングルレーン操作のメニューボードまたはデュアルレーン操作のレーン 1 メニューボードに車両が到着すると、線の上の車ランプが点灯します。

線の下: レーン 2 アクティビティ(デュアルレーン操作のみ)

- ・レーン 2 ヘッドセットでAボタンが押されると、A2 ランプが点灯します。
- ・レーン 2 ヘッドセットでBボタンが押されると、B2 ランプが点灯します。
- ・車両がレーン 2 メニューボードに到着すると、線の下の子車ランプが点灯します。
- ベースステーション上部にある開閉用ラッチを同時に下に押すと、フロントパネルを手前から下向きに開くことができます。
- リセットスイッチはベースステーションのプログラム実行をリセットする時に使用します。このスイッチはベースステーションの右側面の小さな穴の奥にあります。リセットスイッチを押すには、伸ばしたクリップのような細いものを穴の中に注意深く入れます。

ベースステーション表示画面

注:

この取扱説明書の操作と表示はシングルレーンのドライブスルーについて表記しています。

マルチレーンについては、**LANE STATUS**(レーン状態)画面には、**Vehicle detection**(車両検出)としてL1(レーン1)、L2(レーン2)の状態が、**Lane config**(レーン状態)にレーン設定情報、また、**Dedicated**(専用モード)の設定情報✓(オン)、あるいはー(オフ)が表示されます。マルチレーンの操作、表示等についての追加情報は [Appendix \(付録\)](#) を参照してください。

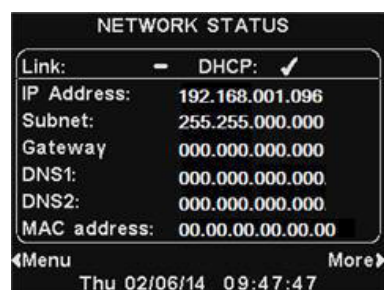
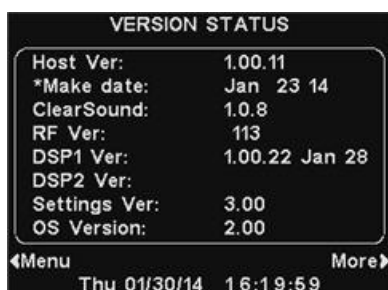
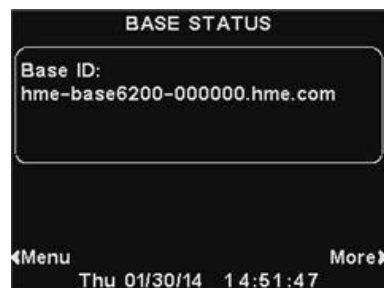
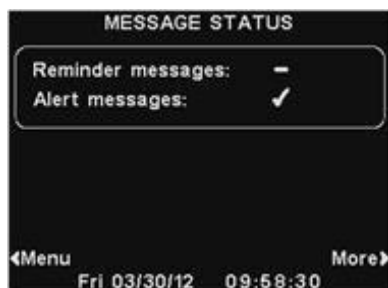
ディスプレイ画面には、インストーラのセットアップと通常操作オプションのためのメニュー選択項目がすべて表示されます。ボタン動作が全くないと、画面はオフ(スリープ状態)になります。いずれかのボタンを押すと画面が再表示されます。(ウェイクアップ状態)



LANE STATUS(レーン状態)画面が表示されていない場合は、**MENU**(メニュー)または**More**(詳細)ボタンを何回か押すことにより表示されます。

LANE STATUS(レーン状態)画面の左下にある**Menu**(メニュー)ボタンを押すと、システムの設定が行える**MAIN MENU**画面を表示します。**MAIN MENU**で**More**(詳細)ボタンを押すと、追加の設定が行えます。

LANE STATUS(レーン状態)画面の右下にある**More**(詳細)ボタンを押すと、詳細なシステム状態を表示します。他の**STATUS**(状態表示)画面で右下にある**More**(詳細)ボタンを押すと、そのほかの**STATUS**(状態表示)が確認できます。それぞれの状態表示画面では、その他のベースステーションの状態情報、バージョン情報やネットワーク情報が確認できます。



ヘッドセット

機能とコントロール



図 3. ヘッドセット コントロール

ヘッドセットの装着方法

- 口の右側または左側にマイク付きヘッドセットを装着します。
- 必要に応じて、ヘッドバンドとマイクブームを調整します。

マイクのブームを押
さえながら、
マイクの位置を調
整します。



図 4. 正しいヘッドセットの装着

ヘッドセットコントロールの使用法

ヘッドセットコントロールボタンは、軽く触れることで有効になります。指の爪ではなく指先で、ボタンを押します。

電源オン/オフ

- **電源オン**—電源ボタンを押して離します。
イヤホンから「headset #, battery full/half/low (ヘッドセット番号、バッテリーが満/半分/低)」という音声メッセージが流れ、電源ランプと状態表示ランプの両方が赤色に点滅します。しばらくすると、電源ランプがレーン 1 の場合は緑色に、レーン 2 の場合は赤色に変わり、状態表示ランプが消えます。イヤホンから「Lane1 (or 2) (レーン 1 (または 2))」という音声メッセージが流れます。
- **電源オフ**—電源ボタンを約 3 秒間押し続けます。イヤホンから「headset off (ヘッドセット) がオフ」という音声メッセージが流れ、電源ランプが消えます。

音量ダウン/アップ

- **音量アップの調整**—音量アップの **^** ボタンに触れて離します。ボタンに触れる度に音量が上がり、イヤホンから高いピッチのビーブ音が聞こえます。最大音量に達すると、高いピッチのダブルビーブ音が鳴ります。音量アップの **^** ボタンに触れ続けると、音量が最大に達するまでピッチが上がりながら、ビーブ音が繰り返し聞こえます。音量アップの **^** ボタンを離すまで、高いピッチのダブルビーブ音が鳴りつづけます。
- **音量ダウンの調整**—音量ダウンの **v** ボタンに触れて離します。ボタンに触れる度に音量が下がり、イヤホンから低いピッチのビーブ音が聞こえます。最小音量に達すると、低いピッチのダブルビーブ音が鳴ります。音量ダウンの **v** ボタンに触れ続けると、音量が最小に達するまでピッチが下がりながら、ビーブ音が繰り返し聞こえます。音量ダウンの **v** ボタンを離すまで、低いピッチのダブルビーブ音が鳴りつづけます。

ヘッドセットの登録

注:

現時点で登録されているすべてのヘッドセットの電源をオンにしないと、使用していないヘッドセットを消去する際に未登録になります。

もしすべてのヘッドセットを消去した場合は、使用するヘッドセットを再登録しなければなりません。

各ヘッドセットは、EOS|HD の設置時にベースステーションと共に使用するために登録されています。そのため、ベースステーションは電源が入った時点で登録済みのヘッドセットすべてを認識し、同じような周波数で稼働しているその他の電子装置と区別することができます。

ヘッドセットは最大 15 個まで登録できます。交換する場合は、使い始める前に新しいものを登録する必要があります。ヘッドセットを交換すると、古いものはメモリに残ります。最大数の 15 を超えると(メモリ内で)、ベースステーションの HEADSET REGISTRATION (ヘッドセットの登録) 画面には、登録可能なヘッドセットがゼロであることを示すメッセージが表示されます。この場合、使用していないヘッドセットすべてを消去するか、現行の登録をすべて消去します。使用していないヘッドセットすべてを消去すると、新しい登録が開始できます。現行の登録をすべて消去した場合、使用中のヘッドセットをすべて再登録する必要があります。それぞれ使用しているヘッドセットを、同じ方法で一度に 1 個ずつ登録します。

各ヘッドセットを登録するには:

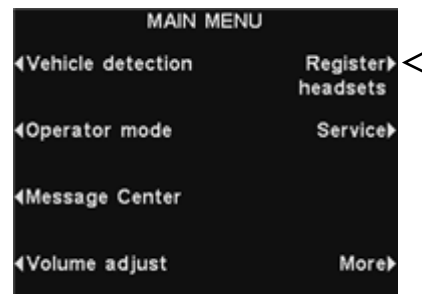
- 登録するすべてのヘッドセットの電源がオフになっていること、またベースステーションの電源がオンになっていることを確認してください。その他のヘッドセットの電源は、オンでもオフでも構いません。
- ベースステーションのLANE STATUS(レーン状況)画面で、Menu(メニュー)ボタンを押します。

注:

登録中、ヘッドセットはベースステーションから6フィート(1.83メートル)以内になければなりません。



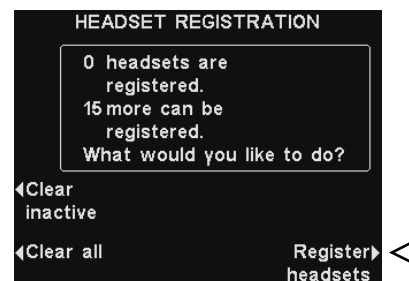
- MAIN MENU(メインメニュー)画面で、Register headsets(ヘッドセットの登録)ボタンを押します。



注:

登録を消去する前に、中止するか継続するかを尋ねる警告メッセージが表示されます。

- HEADSET REGISTRATION(ヘッドセットの登録)画面で、Clear inactive(非アクティブの消去)ボタンを押すと、電源がオフになっているヘッドセットの登録が消去されます。
- Clear all(すべて消去)ボタンを押すと、ベースステーションに登録されているヘッドセットすべての登録が消去され、ベースステーションが自動的に再起動します。



- ヘッドセットを登録するには、HEADSET REGISTRATION(ヘッドセット登録)画面で、Register headsets(ヘッドセットの登録)ボタンを押します。

- **TO REGISTER HEADSETS**(ヘッドセットを登録するに) 画面のボックス内の指示に従います。



- 1) ヘッドセットの電源をオフにします。
 - 2) **B** ボタンに触れ続けます。
 - 3) 電源ボタンを押します。
 - 4) 電源ランプが光ったら、**B** ボタンと電源ボタンを離します。
 - 5) 下記の single(ひとつ)または multi(複数)を選択します。
- ヘッドセットをひとつだけ登録する場合は、**TO REGISTER HEADSETS**(ヘッドセットを登録するに)画面の **Register single**(ひとつを登録)ボタンを押します。
 - 複数のヘッドセットを登録する場合は、**TO REGISTER HEADSETS**(ヘッドセットを登録するに)画面の **Register multi**(複数を登録)ボタンを押し、残りのヘッドセットの登録を続けます。

それぞれの登録が正常に完了すると:

- ヘッドセットに割り当てられたID番号が表示されます。
ID番号には、0~9、A、B、C、D、E が連続して割り当てられます。



- ヘッドセットを登録したら、Back(戻る)ボタンを押して、登録モードを終了します。MAIN MENU(メインメニュー)またはLANE STATUS(レーン状態)画面に戻るまで、Back(戻る)ボタンを押します。
- ヘッドセットの電源ランプは緑色のままになります。

ヘッドセットの登録に問題がある場合:

米国では、HME カスタマサポート(1-800-848-4468)までご連絡ください。
米国以外の国では、販売代理店までご連絡ください。

バッテリーの取り外しと交換

バッテリーを取り外すには:

バッテリー容量が少なくなると、ヘッドセットから「Change battery(バッテリーを交換してください)」という音声がかかります。この場合は、図 5 で示される通り、バッテリー リリース ラッチを押しつつ、バッテリーを注意しながらスライドさせヘッドセットから取り外します。

バッテリーを交換するには:

ヘッドセットのバッテリーを交換する場合は、取り外したバッテリーと同じ向きに、バッテリーの金属接点が付いた方の端をヘッドセットのバッテリーホルダーに入れます。バッテリー リリース ラッチがカチッと鳴るまで、バッテリーをバッテリーホルダーに注意しながら押し込みます。



図 5. ヘッドセットバッテリー リリースラッチ

バッテリーは、9 ページの指示に従って再充電します。

バッテリー充電器

バッテリー充電器は、同時に 4 つまでのバッテリーを充電できます。充電時間は約 2 時間半です。各充電ポートそばの状態ランプについて以下に説明します。最大 4 つまでの完全充電済みバッテリーをバッテリー保管ポートで保管することが可能です。

手順:

充電ポートにバッテリーを挿入します。バッテリーは一方向にしか充電ポートに挿入できません。もし、挿入時につっかえる場合は、挿入方向、向きを変えてください。**決して強引に挿入しないでください。**定位置に収まるまでバッテリーを挿入し、確実に充電端子に接触するように押します。

バッテリー状態表示:

- 充電ポートが空だと、それぞれの充電ポートそばの状態ランプが黄色に点灯します。
- 4 つの充電ポートのいずれかに、定位置に収まるまでバッテリーを挿入します。
- 赤色のランプが点灯中は充電中ですので、バッテリーはそのままにしてください。
- 緑色のランプが点灯したら充電が完了しましたので、次のバッテリーを充電できます。
- バッテリーを挿入しても充電ポートの状態ランプが黄色に点灯したままになっている場合は、充電の失敗を意味します。その場合は、(1)バッテリーが正しく挿入され、充電端子が接触していることを確認してください。(2)違う充電ポートにバッテリーを差し換えてください。もし、充電が行えるのであれば、最初の充電ポートが故障しています。もし、充電が行われない場合は、バッテリーを交換して充電をしてみてください。バッテリーの寿命か機器の故障が考えられます。
- 完全充電済みのバッテリーは、保管ポートで保管します。充電ポートに長期間挿入したままにしないでください。

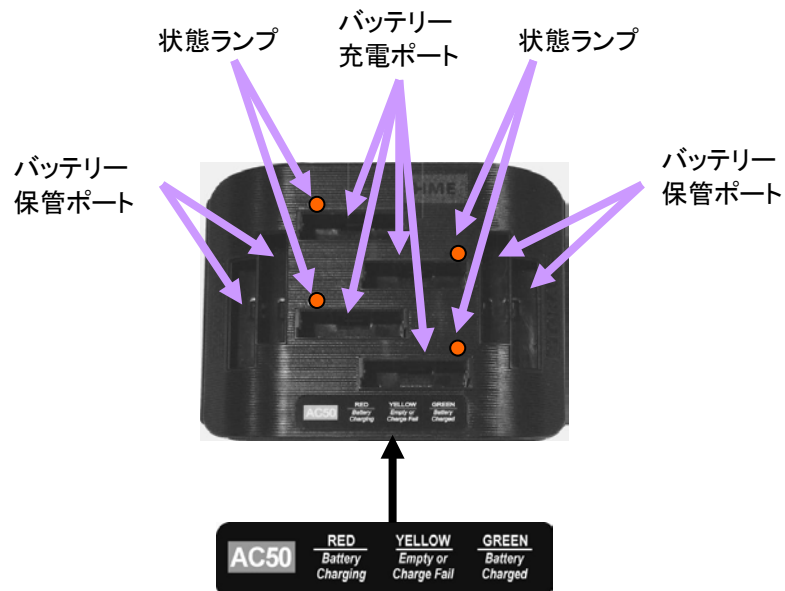


図 6. 充電器

EOS|HD の操作

EOS|HD は、ハンズフリー (HF)、自動ハンズフリー (AHF)、Bチャンネルハンズフリー (BHF)、またはプッシュトゥーク (PTT) の操作ができます。

全二重式システムは、HF、AHF、BHF、PTT の操作に対応します。HF、AHF と BHF の操作では、通常の電話会話のように、通信を同時に送受信できます。AHF モードでは、お客様がドライブスルーレーンに入ると、送信と受信が自動的に有効になります。HF モードでは、送信と受信は ヘッドセットの **A1** または **A2** ボタンに触れて離すことによって有効になります。PTT モードでは、オペレータがお客様と会話している間は **A1** または **A2** ボタンに触れ続ける必要があります。半二重式システムは PTT モードのみに対応し、オペレータが **A1** または **A2** ボタンに触れている間は、お客様の客の声は聞こえません。

シングルレーン操作では、お客様がドライブスルーのレーンに入ると、ヘッドセットからビープ音が 1 回聞こえます。

注:

デュアルレーン動作で、もし、Mode switch (モードスイッチ) を使用し、Dedicated (専用) に設定されている場合、お客様がレーンに到着したときにそのレーンに設定されているヘッドセットだけに車両到着音が聞こえます。

デュアルレーン操作では、お客様がドライブスルーのレーンに入ると、レーン 1 用ヘッドセットからビープ音が 1 回、レーン 2 用ヘッドセットからはビープ音が 2 回聞こえます。

デュアルレーン操作では、ひとつのレーンのお客様と交信している時に他のレーンに別のお客様が入ると、ヘッドセットからビープ音が聞こえます。接続しているレーンのスピーカーポストからお客様が離れると、他のレーンのお客様と通信するために **A1** または **A2** ボタンに触れるまで、ヘッドセットから同じビープ音が 4 秒ごとに繰り返し聞こえます。

シングルレーンまたはデュアルレーンの店舗での操作については、以下のページの指示を参照してください。

ヘッドセット指示言語の変更

ヘッドセットから聞こえる指示言語を英語からスペイン語かフランス語に変更した後に英語に戻すには、電源をオフにし、音量ダウンの **V** ボタンと **A1** ボタンに触れながら **電源ボタン** を押します。電源をオンにすると、ヘッドセットのイヤホンから聞こえる指示言語が変更されます。ヘッドセットの電源を切り、再度入れたときには、最後に設定した言語の状態ですべて起動します。

次の言語に変更する場合は、電源をきり、再び音量ダウンの **V** ボタンと **A1** ボタンに触れながら **電源ボタン** を押します。

ヘッドセット状態の取得

ヘッドセットの状態を入手するには、電源をオフにし、音量ダウンの **V** ボタンと **A2** ボタンに触れながら **電源ボタン** を押します。電源をオンにすると、ヘッドセットのイヤホンから状態メッセージが聞こえます。

シングルレーン操作

ハンズフリー(HF)モード

- HFモードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量アップのAとBボタンに触れながら**電源ボタン**を押して離します。ヘッドセットはこの設定を記憶します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入ると、ヘッドセットから警告音(ビーブ音 1 回)が聞こえ、スピーカーポストまたはメニューボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- お客様と話すには、**A1** または **A2** ボタンに触れて離します。
- お客様との会話を終了するには、**A1**、**A2**、または **B** ボタンに触れて離します。
- 再びお客様と話すには、**A1** または **A2** ボタンに触れて離します。
- 必要な場合は、音量アップのAボタンと音量ダウンのVボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニューボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

自動ハンズフリー(AHF)モード

- AHFモードで電源をオンにするには、電源をオフにした状態で、音量アップのAと**A1** ボタンに触れながら**電源ボタン**を押して離します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入ると、ヘッドセットから警告音(ビーブ音 1 回)が聞こえ、スピーカーポストまたはメニューボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- どのボタンにも触れずに、お客様と会話が行えます。
- お客様との会話を終了するには、**A1**、**A2**、または **B** ボタンに触れて離します。
- 再びお客様と会話するには、**A1** または **A2** ボタンに触れて離します。
- 必要な場合は、音量アップのAボタンと音量ダウンのVボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニューボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

注:

一度にひとりのヘッドセットオペレータのみが自動ハンズフリー機能を使うことができ、この機能をベースステーションで有効にする必要があります。AHFモード中にヘッドセットの電源をオフにすると、前の操作モードに自動的にリセットされます。

Bチャンネルハンズフリー(BHF)モード

- BHFモードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、**B** ボタンと **A2** ボタンに触れながら**電源ボタン**を押して離します。ヘッドセットはこの設定を記憶します。
- これは、従業員同士がハンズフリーで会話するために、Bチャンネルを占有使用します。もし、お客様が到着すると、Bチャンネルの会話は、お客様との会話を可能にするために、中断されます。

プッシュトゥーク(PTT)モード

- PTTモードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量ダウンのVと**B**ボタンに触れながら**電源ボタン**を押して離します。ヘッドセットはこの設定を記憶します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入ると、ヘッドセットから警告音(ビーブ音 1 回)が聞こえ、スピーカーポストまたはメニューボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- お客様と話すには、**A1** または **A2** ボタンに触れ続けます。お客様との会話を中断するとき(全二重式の場合)、またはお客様の音声を聞く(半二重式の場合)ときは、ボタンを離します。
- 必要な場合は、音量アップのAボタンと音量ダウンのVボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。

デュアルレーン操作

デュアルレーン操作では、2つのレーンがあり、各レーンに1つのオーダーポイントがあります。タンデムの場合は1つのレーンに2つのオーダーポイントがあります。

注:

もし、オプションの M10 Mode Switch (M10 モードスイッチ) を使用している場合、**Non-Dedicated (非専用)** にすると、ヘッドセットのオペレータは、お客様がどちらかのレーンに入った時点で警告音を聞くことができます。スイッチを **Dedicated (専用)** にすると、どちらのレーンのオペレータも自分のレーンにお客様が入った時だけ、警告音を聞くことができます。MS10 モードスイッチがない場合は、ベースステーションのメニューを使ってモードを変更します。MS10 を使用するには、ベースステーションの **OPERATOR MODE (オペレータモード)** 画面で、**dedicated mode (専用モード)** を External に設定する必要があります。

注:

各レーンでは、一度にひとりのヘッドセットのオペレータのみが自動ハンズフリー機能を使うことができます。オペレータが2番目のヘッドセットを設定しようとすると、ヘッドセットから「System busy (システム使用中)」というメッセージが聞こえます。

AHF モードで操作中は、レーンは変更できません。AHF モードでヘッドセットの電源をオフにすると、前の操作モードに自動的にリセットされます。

ハンズフリー (HF) モード

- HFモードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量アップの **Λ** と **B** ボタンに触れながら **電源ボタン** を押して離します。ヘッドセットはこの設定を記憶します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入った時、ヘッドセットから警告音 (レーン 1 の場合はビープ音 1 回、レーン 2 の場合はビープ音 2 回) が聞こえ、スピーカーポストまたはメニューボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- お客様と話すには、レーン 1 の場合は **A1** ボタンを、レーン 2 の場合は **A2** ボタンに触れて離します。
- お客様との会話を終了するには、レーンにより **A1** または **A2**、あるいは **B** ボタンに触れて離します。
- お客様と再び話すには、レーン 1 の場合は **A1** ボタンを、レーン 2 の場合は **A2** ボタンに触れて離します。
- 必要な場合は、音量アップの **Λ** ボタンと音量ダウンの **V** ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- レーンを変更するには、もう一方の **A** ボタンに触れて離します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニューボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

自動ハンズフリー (AHF) モード

- レーン 1 操作の場合、電源を AHF モードでオンにするには、電源をオフにした状態で、音量アップの **Λ** と **A1** ボタンに触れながら **電源ボタン** を押して離します。
- レーン 2 操作の場合、電源を AHF モードでオンにするには、電源をオフにした状態で、音量アップの **Λ** と **A2** ボタンに触れながら **電源ボタン** を押して離します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入った時、ヘッドセットから警告音 (レーン 1 の場合はビープ音 1 回、レーン 2 の場合はビープ音 2 回) が聞こえ、スピーカーポストまたはメニューボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- どのボタンも押さずにお客様に話し、お客様の声を聞きます。
- お客様との会話を終了するには、レーンにより **A1** または **A2**、あるいは **B** ボタンに触れて離します。
- お客様と再び会話するには、レーン 1 の場合は **A1** ボタンを、レーン 2 の場合は **A2** ボタンに触れて離します。
- 必要な場合は、音量アップの **Λ** ボタンと音量ダウンの **V** ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニューボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

Bチャンネルハンズフリー (BHF) モード

- BHFモードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、**B** ボタンと **A2** ボタンに触れながら **電源ボタン** を押して離します。ヘッドセットはこの設定を記憶します。
- これは、従業員同士がハンズフリーで会話するために、Bチャンネルを占有使用します。もし、お客様が到着すると、Bチャンネルの会話は、お客様との会話を可能にするために、中断されます。

プッシュトゥートーク (PTT) モード

- PTTモードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量ダウンの **V** と **B** ボタンに触れながら、**電源ボタン** を押して離します。ヘッドセットはこの設定を記憶します。

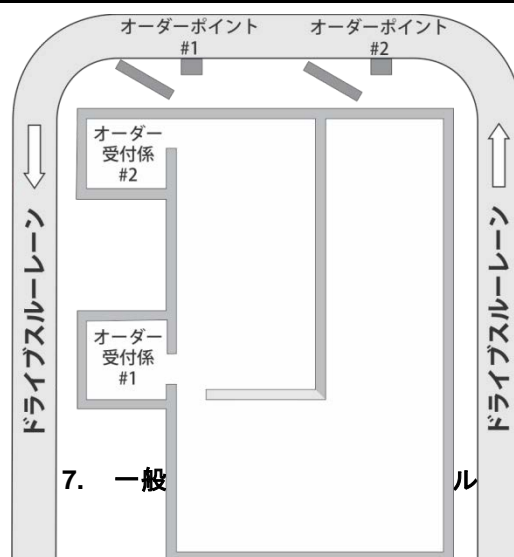
- お客様の車がドライブスルーレーンに入った時、ヘッドセットから警告音(レーン 1 の場合はビープ音 1 回、レーン 2 の場合はビープ音 2 回)が聞こえ、スピーカーポストまたはメニューボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- レーン 1 のお客様と話すには **A1** ボタンを、レーン 2 のお客様と話すには **A2** ボタンに触れ続けます。お客様との会話を中断するとき(全二重式の場合)、またはお客様の声を聞く(半二重式の場合)には、ボタンを離します。
- 必要な場合は、音量アップの **↑** ボタンと音量ダウンの **↓** ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。

タンデム操作

注:

タンデム操作では、オーダー受付係#2 のヘッドセットが自動ハンズフリーモードに設定されている場合は、「Please pull forward (前にお進みください)」というメッセージはオーダーポイント#2 では再生されません。必要な場合は、受付係#2 がオーダーポイント#2 のお客様に前に進むように伝えなければなりません。AHF モードでヘッドセットの電源をオフにすると、前の操作モードに自動的にリセットされます。

タンデムはデュアルレーン操作の特殊ケースで、お客様がオーダーポイント#2 に入った時にオーダーポイント#1 にお客様がいない場合、「Please pull forward (前にお進みください)」というメッセージが流れます。ヘッドセットの操作は、デュアルレーン操作に説明されているものと同じです。



7. 一般

ル

店舗内コミュニケーション

BHF設定がされていると、従業員同士がハンズフリーで会話するために、Bチャンネルを占有使用します。もし、お客様が到着すると、Bチャンネルの会話は、お客様との会話を可能にするために、中断されます。

店舗内で他のヘッドセットオペレータと連絡を取るには、**B**ボタンに触れながら会話します。会話が終わったら、ボタンを離します。シングルレーン操作では、最高 4 人までのヘッドセットオペレータが全員 **B**ボタンに触れ続けることで、電話会議のようなコミュニケーションを取ることができます。全員が **B**ボタンに触れることで、干渉なくお互いに会話が行えます。

デュアルレーン、Yレーン、タンデム、シングル/A2 操作では、システムが「Split-B (スプリットB)」に設定されている場合、レーンのヘッドセットオペレータのみが店舗内の会話を聞くことができます。システムが「Combined-B (結合B)」操作に設定されている場合、両レーンのヘッドセットオペレータ全員に店舗内の会話が流れます。デュアルレーン操作では、最高 3 人までのヘッドセットオペレータが全員 **B**ボタンに触れ続けることで、電話会議のようなコミュニケーションを取ることができます。全員が **B**ボタンに触れることで、干渉なくお互いの会話が聞こえます。店舗内会話を行なっている時に車がレーンに入った場合は、お客様

との会話のため、該当するAチャンネルに優先権が与えられ、使用可能な店舗内会話チャンネルの数が減ります。

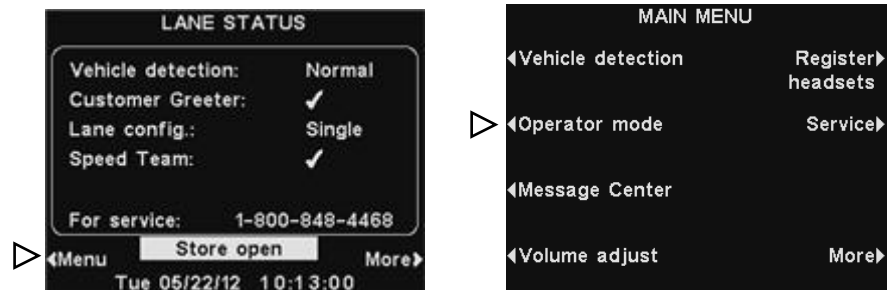
スピード-チーム オペレータ モード

スピードチーム操作は忙しい時間帯に使用します。ヘッドセットを装着しているオーダー受付係が、**A1、A2** または**B**ボタンを使って、外からのオーダーを店舗内にまわします。

スピードチームはシングルレーン、デュアルレーンで使用でき、タンデムでは使用できません。

スピードチーム操作

スピードチーム操作を開始するには、ベースステーションの**LANE STATUS**(レーン状態) 画面で**Menu**(メニュー) ボタンを押した後、**MAIN MENU**(メインメニュー) 画面の**Operator mode**(オペレータモード) ボタンを押します。



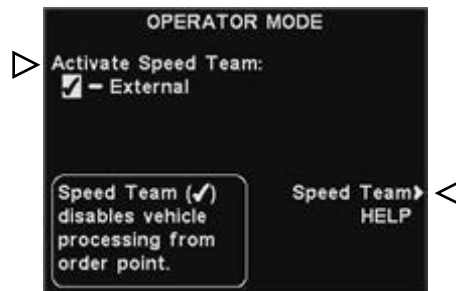
OPERATOR MODE(オペレータモード)画面で、**Activate Speed Team**(スピードチームの有効化) ボタンを押して、**注意:** スピードチームを✓(オン)にすると、ベースステーションの多くの機能が無効になります。スピードチーム操作中は、車両の到着音とお客様の声は聞こえません。通常に注文を受ける場合は、スピードチームの設定は- (オフ) にしてください。

注:

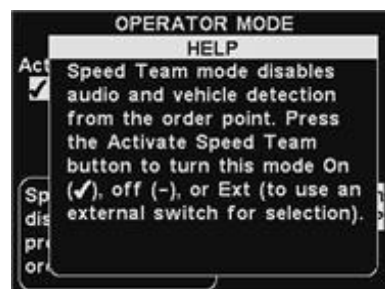
ここに示されているオペレータモードはシングルレーンでの動作です。

デュアルレーン操作の場合に、**Activate dedicated mode**(専用モードの有効化) の設定が **OPERATOR MODE**(オペレータモード) 画面に表示されます。

Dedicated mode(専用モード)の詳細は [Appendix \(付録\)](#) を参照してください。



Speed Team HELP(スピードチームヘルプ) ボタンを押すと、説明文(英語)が表示されます。



設定を保存するには、**Back**(戻る) ボタンを押します。

メッセージセンターの操作

ヒント

次に進む前に、メッセージセンターのメッセージを店舗内で再生する必要がある時間帯をすべて想定し、考慮することが重要です。最大 12 件の時間帯を設定できます。本書裏表紙の「メッセージセンターの設定ワークシート」が使用できます。必要な時間帯を判断したら、メッセージセンターの設定を続ける前に、「スケジュール時間」セクションを読み、店舗の時間帯を設定してください。

メッセージセンターの設定を行なう前に、現在の時刻と日付、店舗の開店時間と閉店時間を設定する必要があります。

注:

メッセージセンターの設定は通常店舗マネージャーのような権限を持った方により行われます。メッセージセンターの設定変更を行う場合、パスワードの入力を求めるようにします。パスワードの設定が必要な場合は [Appendix \(付録\)、Access control \(アクセス制御\)](#) を参照してください。

メッセージセンターでは、指定の時間帯に様々なイベントによってトリガーされるメッセージを、ヘッドセットや天井スピーカーからスピーカーポストにいるお客様やクルーメンバーに流すメッセージを設定できます。

一部のメッセージは、事前に名前が付けられ録音済みです。すべてのメッセージは、編集、録音することが可能で、ユーザーの望みどおりにカスタマイズすることができます。以下に 3 種類のメッセージについて説明します。次ページの表には、工場出荷時の事前設定のメッセージの名前と内容が示されています。以下の表では、メッセージセンターのセットアップ方法の手順について説明します。

本書の最後には、メッセージ設定に関する「メッセージセンタークイックスタートガイド」が掲載されています。

顧客歓迎メッセージ

顧客歓迎メッセージは、スピーカーポストでお客様に流れるメッセージです。メッセージは通常、お客様を迎え、セール商品をお知らせするために使用されます。顧客歓迎メッセージは事前に名前が付けられていますが、「Store Closed (閉店中)」と「Pull Forward (前進)」(タンデムドライブスルー専用) メッセージを除き、録音はされていません。顧客歓迎メッセージはすべて、店舗のニーズに合わせて、名前の変更、録音、再録音が可能です。

リマインダーメッセージ*

リマインダーメッセージは、日常業務を行う際にクルーメンバーに注意事項などの念を押すためにヘッドセットから流れます。天井スピーカーから流れるように設定することもできます。事前に名前が付けられ録音済みのメッセージが 12 件あり、店舗のニーズに合わせて名前を変更して再録音することも可能です。必要に応じて名前を付けて録音できる 3 件の「空」のメッセージもあります。リマインダーメッセージは、すべてのヘッドセットに、または指定ヘッドセットのみに送信できます。

警告メッセージ*

- 警告メッセージ(音声)は、ドアが開いたままになっていることやお客様の来店など、クルーメンバーに注意を喚起するために、ヘッドセットを通じて流れます。警告メッセージは、すべてのヘッドセットに送信したり、指定のヘッドセットや天井スピーカーからのみ流れるようにすることもできます。ドア開放のような店舗内の状態検知スイッチのトリガーによる 6 件の警告メッセージ(音声)と、ネットワーク経由の PC コマンドトリガーによる 14 件の警告メッセージ(音声)があります。
- マネージャーが店舗で何が起きたかを知ることができる、警告メッセージ(メール/テキスト)を指定されたメール受信者のスマートフォンや他のメール受信機器にテキストメッセージとして送ることができます。

* リマインダーメッセージと警告メッセージは優先度の高、低のどちらかを設定できます。

優先度 低: メッセージが再生中に、A ボタン、B ボタン、車両到着の 3 つの事象のどれかが発生したとき、優先度低のメッセージの再生は取り消されます。優先度低のメッセージが中止された場合、新たなトリガーが発生しない限り、再度のメッセージ再生は行われません。

優先度 高: メッセージ再生中に、A ボタン、B ボタンのどちらかの事象が発生したとき、優先度高のメッセージは、再生が中断されます。事象の終了後、メッセージは再度、最後まで再生されます。

顧客歓迎メッセージは、ドライブスルーレーンの車両検出に加え、時刻と曜日によってトリガーされます。

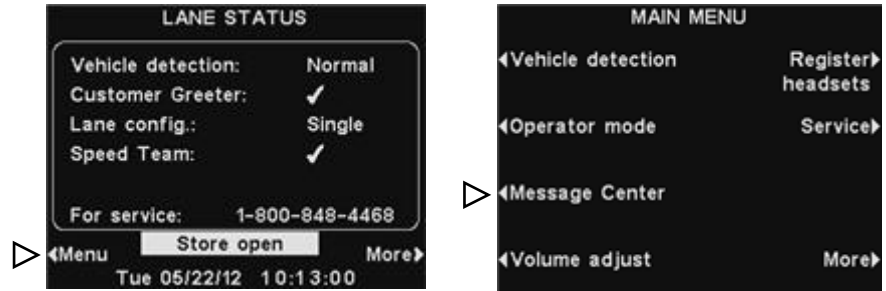
リマインダーメッセージは、時刻と曜日によってのみトリガーされます。

警告メッセージは、入力信号に加え、時刻と曜日、またネットワークイベントによってトリガーされます。イベント項目のS#はスイッチトリガーによる警告。N#はネットワークトリガーによる警告を表します。

メッセージセンター メッセージ			
顧客歓迎メッセージ	名前		内容
	All Day 1 (全日 1)		事前録音はありません。
	All Day 2 (全日 2)		事前録音はありません。
	Breakfast 1 (朝食 1)		事前録音はありません。
	Breakfast 2 (朝食 2)		事前録音はありません。
	Lunch 1 (昼食 1)		事前録音はありません。
	Lunch 2 (昼食 2)		事前録音はありません。
	Snack 1 (スナック 1)		事前録音はありません。
	Snack 2 (スナック 2)		事前録音はありません。
	Dinner 1 (夕食 1)		事前録音はありません。
	Dinner 2 (夕食 2)		事前録音はありません。
	Store Closed (閉店中)		Thank you for your visit, but we are currently closed. (ご来店ありがとうございます。現在閉店中です。) Please visit us again during our normal business hours. (営業時間内のご来店をお待ちしております。)
	Pull Forward* (前進)*		Hello, please pull forward to the next speaker. Thanks. (ご来店ありがとうございます。次のスピーカーまで車をお進めください。)* (タンデムドライブスルーのみ)
リマインダーメッセージ	Hand Washing (手洗い)		Please wash your hands. (手を洗ってください。)
	Sanitizer (除菌)		Please change sanitizer solution. (殺菌剤を交換してください。)
	DR Trash (厨房のゴミ箱)		Please check the dining room trash. (厨房のゴミ箱をチェックしてください。)
	HAACP		Please complete the HAACP shift checklist. (HAACP シフトチェックリストを完了してください。)
	Quality Check (品質チェック)		Please complete the shift quality check. (シフト品質チェックを完了してください。)
	Lot Check (駐車場チェック)		Please complete a parking lot check. (駐車場チェックを完了してください。)
	Restroom Check (トイレチェック)		Please check the restrooms. (トイレをチェックしてください。)
	Pre-Rush (混雑前)		Please complete the pre-rush tasks for your workstation. (混雑前に行なうワークステーションのタスクを完了してください。)
	Post-Rush (混雑後)		Please complete the post-rush tasks for your workstation. (混雑後に行なうワークステーションのタスクを完了してください。)
	Headset Status (ヘッドセットの状態)		To check headset status, press and hold A2 and volume down while turning on the power. (ヘッドセットの状態をチェックするには、電源をオンにする時にA2と音量ダウンに触れ続けます。)
	Change Language (言語の変更)		To change headset prompt language, press and hold A1 and volume down while turning on the power. (ヘッドセットの指示言語を変更するには、電源をオンにする時にA1と音量ダウンに触れ続けます。)
	Hands Free ON (ハンズフリー オン)		To turn headset hands free mode on, press and hold B and volume up while turning on the power. (ヘッドセットのハンズフリーモードをオンにするには、電源をオンにする時にBと音量アップに触れ続けます。)
	Empty 1-3 (空 1-3)		事前録音はありません。
警告メッセージ	名前	イベント	内容
	Freezer Door (冷凍庫ドア)	S1	The freezer door has been left open. (冷凍庫のドアが開いたままになっています。)
	Cooler Door (冷却器ドア)	S2	The cooler door has been left open. (冷却器のドアが開いたままになっています。)
	Back Door (裏口)	S3	The back door has been left open. (裏口が開いたままになっています。)
	Lobby Door (ロビードア)	S4	A guest has entered the lobby. (お客様がロビーに入りました。)
	Empty (空)	S5	事前録音はありません。
	Empty (空)	S6	事前録音はありません。
	Empty (空)	N1-N14	事前録音はありません。

顧客歓迎メッセージの設定

顧客歓迎メッセージを再生する時間帯や場所を設定する、または顧客歓迎メッセージに名前を付けたり録音したりするには、ベースステーションの**LANE STATUS**(レーン状態)画面で**Menu**(メニュー)ボタンを押し、その後、**MAIN MENU**(メインメニュー)で**Message Center**(メッセージセンター)ボタンを押します。



MESSAGE CENTER MENU(メッセージ センター メニュー)で**Customer Greeter**(顧客歓迎メッセージ)ボタンを押します。



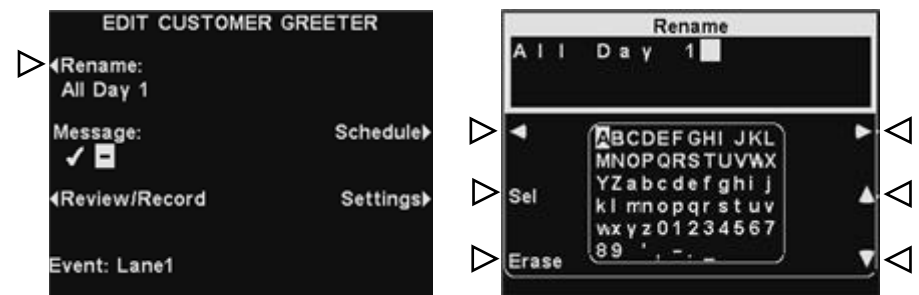
注:

顧客歓迎メッセージ画面と顧客メッセージの編集画面はシングルレーンでの動作について示しています。
デュアルレーンの動作については、[Appendix \(付録\)](#)、[Customer Greeting Messages \(顧客歓迎メッセージ\)](#)を参照願います。

CUSTOMER GREETER(顧客歓迎メッセージ)画面で編集するメッセージを選択するには、▲(アップ)または▼(ダウン)ボタンを押して希望するメッセージをハイライトします。
メッセージを編集するには、メッセージを選択し、**Edit**(編集)ボタンを押します。

メッセージ名の変更

選択したメッセージの名前を変更するには、**EDIT CUSTOMER GREETER**(顧客歓迎メッセージの編集)画面で**Rename**(名前の変更)ボタンを押します。



RENAME(名前変更)画面で、**Erase**(消去)ボタンを押し、変更したい名前の文字を消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、名前に使用したい文字にハイライト表示を移動します。**Sel**(選択)ボタンを押してハイライトされている文字を名前として入力します。入力が完了したら、**Back**(戻る)ボタンを押して新しい名前を保存します。

メッセージのオン/オフ



選択したメッセージをオンまたはオフにするには、**EDIT CUSTOMER GREETER** (顧客歓迎メッセージの編集) 画面で **Message** (メッセージ) ボタンを押し、✓ (オン) または - (オフ) をハイライトします。**Back** (戻る) ボタンを押して設定を保存します。

メッセージの確認または録音



選択した既存のメッセージを確認する、または新しいメッセージを記録するには、**EDIT CUSTOMER GREETER** (顧客歓迎メッセージの編集) 画面で **Review/Record** (確認/録音) ボタンを押します。

既存のメッセージを聞くには、**REVIEW/RECORD MESSAGE** (メッセージの確認/録音) 画面で、**Review** (確認) ボタンを押します。**READY TO REVIEW** (確認の準備) 画面での操作を行います。**B** ボタンに触れ続けます。メッセージが **B** ボタンに触れ続けているヘッドセットだけに再生されます。

注:

確認のため再生されるメッセージは、レーンでの業務を妨害しないように、特定のヘッドセットから再生させます。



新しいメッセージを録音するには、**REVIEW/RECORD MESSAGE** (メッセージの確認/録音) 画面で **Record** (録音) ボタンを押します。



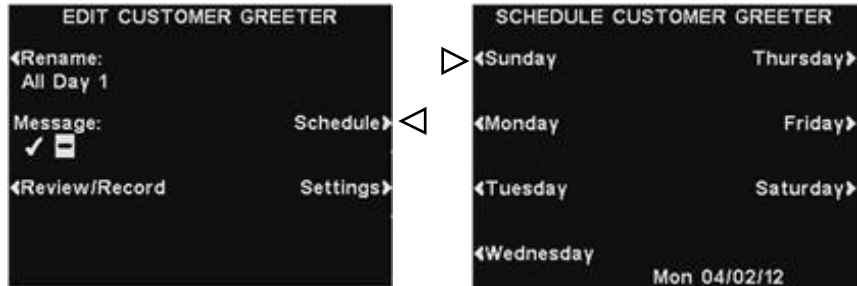
画面の **READY TO RECORD** (録音の準備) の指示に従います。ヘッドセットの **B** ボタンに触れ続けると、最高 16 秒間のメッセージを録音できます。

Progress (プログレス) インジケータが録音の残り時間を示します。

録音を終了するときは、**B** ボタンを離し、画面の **Review** (確認) ボタンを押し、**READY TO REVIEW** (確認の準備) 画面の指示に従い、録音が正しく行われたかを確認します。

メッセージのスケジュール

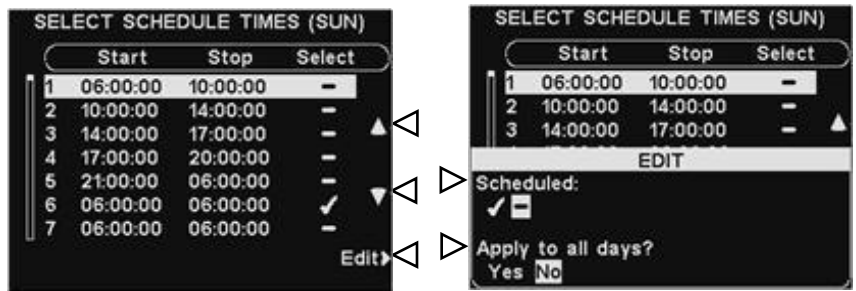
選択したメッセージのスケジュールを選択するには、**EDIT CUSTOMER GREETER** (顧客歓迎メッセージの編集) 画面で **Schedule** (スケジュール) ボタンを押します。



SCHEDULE CUSTOMER GREETER (顧客歓迎メッセージのスケジュール) 画面で、選択したメッセージを再生したい曜日のボタンを押します。

注:

SELECT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の選択) 画面にリストされている時間帯の開始と停止時刻を編集するには、**MESSAGE CENTER MENU** (メッセージセンターメニュー) に移動し、**Edit schedule times** (スケジュール時間の編集) を選択します。



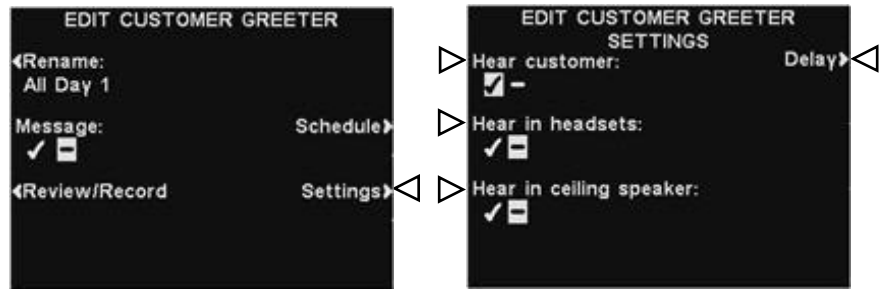
SELECT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の選択) 画面で、▲ (アップ) と ▼ (ダウン) のボタンを押して 12 の使用可能な時間帯をスクロールし、選択したメッセージを再生する時間帯を選択します。希望する時間帯がハイライトしたら、**Edit** (編集) ボタンを押します。

EDIT (編集) 画面で **Scheduled** (スケジュール) ボタンを押して、選択した時間帯に対してメッセージを ✓ (オン) または - (オフ) にします。毎日この時間帯にメッセージをオンまたはオフにする場合は、**Apply to all days** (全曜日に適用) ボタンを押して **Yes** (はい) を選択します。 **No** (いいえ) を選択すると、この変更は選択された曜日だけに適用されます。

Back (戻る) ボタンを押して設定を保存します。

メッセージ再生の設定

選択した顧客メッセージを流す場所(スピーカーポストに加えて)を編集するには、**EDIT CUSTOMER GREETER**(顧客歓迎メッセージの編集)画面で**Settings**(設定)ボタンを押します。



注:

顧客歓迎メッセージは、他の設定に関係なく、常にドライブスルーのスピーカーに送られます。ドライブスルーのスピーカーからの再生を停止する時は、**Customer Greeter**(顧客歓迎メッセージ)の音量設定を0にします。[Volume Adjustments](#)(音量調整)を参照してください。

ドライブスルーのスピーカーからメッセージを流す場合は、**Customer Greeter volume**(顧客歓迎メッセージ音量)を調整し、スピーカーポストでの音量を確認してください。

EDIT CUSTOMER GREETER SETTINGS(顧客歓迎メッセージ設定の編集)画面で、選択した顧客歓迎メッセージを流す、または流さない場所に該当するボタンを押し、**✓**(オン)または**-**(オフ)をハイライトします。

Hear customer:(顧客の声を聞く)に**✓**(オン)を選択すると、選択した顧客歓迎メッセージが流れると共に、スピーカーポストにいるお客様の声も聞こえます。

Hear customer:(顧客の声を聞く)に**-**(オフ)を選択すると、メッセージの再生が完了するまでお客様の声は聞こえません。

Hear in headsets(ヘッドセットで流す)と**Hear in ceiling speaker**(天井スピーカーから流す)の設定では、選択した顧客歓迎メッセージをこれらの場所で聞こえるようにするかどうかを選択できます。

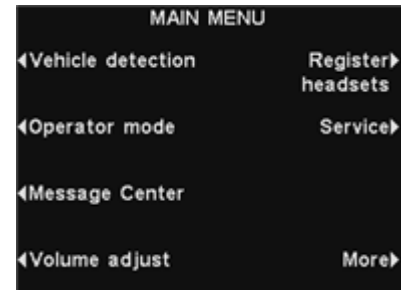
顧客メッセージの再生が始まるまでの遅延時間を設定するには、**EDIT CUSTOMER GREETER SETTINGS**(顧客歓迎メッセージ設定の編集)画面で**Delay**(遅延)ボタンを選択します。**DELAY BEFORE PLAY**(再生前の遅延)画面にて、**+**(アップ)と**-**(ダウン)ボタンを使用して、ハイライト表示のボックスの数字を変更します。ハイライト表示を左右に移動するには**◀**(左)または**▶**(右)ボタンを使います。



完了したら、**Back**(戻る)ボタンを押して設定を保存します。

リマインダーメッセージの設定

リマインダーメッセージを再生する時間帯と場所を設定する、またはリマインダーメッセージに名前を付けたり録音したりするには、ベースステーションの **LANE STATUS**(レーン状態)画面で**Menu**(メニュー)ボタンを押し、その後、**MAIN MENU**(メインメニュー)で**Message Center**(メッセージセンター)ボタンを押します。



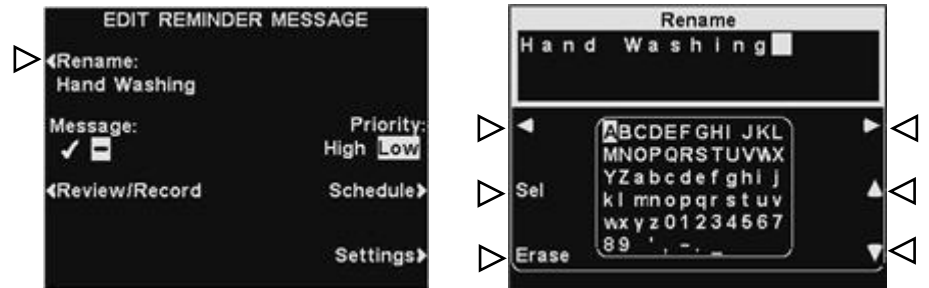
MESSAGE CENTER MENU(メッセージセンターメニュー)で**Reminder messages**(リマインダーメッセージ)ボタンを押します。



REMINDER MESSAGES(リマインダーメッセージ)画面でメッセージを選択するには、▲(アップ)または▼(ダウン)ボタンを押して希望するメッセージをハイライトします。メッセージを編集するには、メッセージを選択し、**Edit**(編集)ボタンを押します。

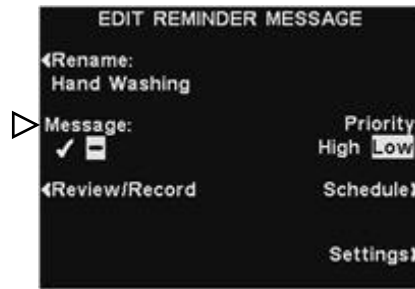
メッセージ名の変更

選択したメッセージの名前を変更するには、**EDIT REMINDER MESSAGE**(リマインダーメッセージの編集)画面で**Rename**(名前の変更)ボタンを押します。



RENAME(名前変更)画面で、**Erase**(消去)ボタンを押し、変更したい名前の文字を消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、名前に使用したい文字にハイライト表示を移動します。**Sel**(選択)ボタンを押してハイライトされている文字を名前として入力します。入力が完了したら、**Back**(戻る)ボタンを押して新しい名前を保存します。

メッセージのオン/オフ



選択したメッセージをオンまたはオフにするには、**EDIT REMINDER MESSAGE** (リマインダーメッセージの編集) 画面で **Message** (メッセージ) ボタンを押し、✓ (オン) または □ (オフ) をハイライトします。Back (戻る) ボタンを押して設定を保存します。

メッセージの確認または録音



選択した既存のメッセージを確認する、または新しいメッセージを録音するには、**EDIT REMINDER MESSAGE** (リマインダーメッセージの編集) 画面で **Review/Record** (確認/録音) ボタンを押します。

既存のメッセージを聞くには、**REVIEW/RECORD MESSAGE** (メッセージの確認/録音) 画面で、**Review** (確認) ボタンを押します。**READY TO REVIEW** (確認の準備) 画面での操作を行います。B ボタンに触れ続けます。メッセージが B ボタンに触れ続けているヘッドセットだけに再生されます。

注:

確認のため再生されるメッセージは、レーンでの業務を妨害しないように、特定のヘッドセットから再生させます。



新しいメッセージを録音するには、**REVIEW/RECORD MESSAGE** (メッセージの確認/録音) 画面で **Record** (録音) ボタンを押します。



画面の **READY TO RECORD** (録音の準備) の指示に従います。ヘッドセットの B ボタンに触れ続けると、最高 10 秒間のメッセージを録音できます。**Progress** (プログレス) インジケータが録音の残り時間を示します。録音を終了するときは、B ボタンを離し、画面の **Review** (確認) ボタンを押し、**READY TO REVIEW** (確認の準備) 画面の指示に従い、録音が正しく行われたかを確認します。

注:

優先度が低に設定されている場合、メッセージは最後まで再生されるか、ヘッドセットからの A ボタン操作、B ボタン操作、レーンへの車両到着によって取り消されます。

優先度が高に設定されている場合、メッセージは最後まで再生されます。もし、ヘッドセットの A ボタン操作、B ボタン操作により中断された場合は、ヘッドセットのボタン操作終了後に再生されます。

メッセージの優先度

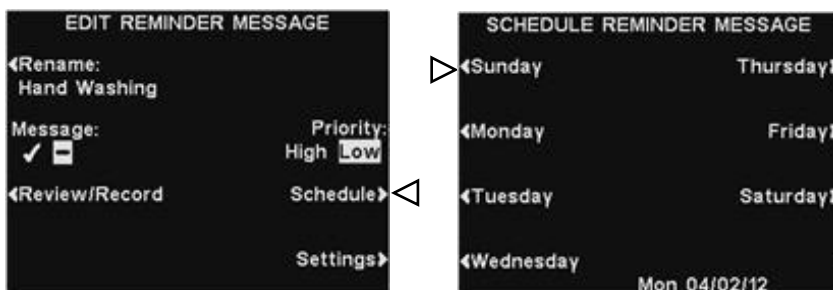
リマインダーメッセージは優先度 高、低を選択することができます。

メッセージの優先度を設定するには、**EDIT REMINDER MESSAGE**(リマインダーメッセージの編集)画面で**Priority**(優先度)ボタンを押し、**High**(高)または**Low**(低)をハイライトさせます。**Back**(戻る)ボタンを押して設定を保存します。



メッセージのスケジュール

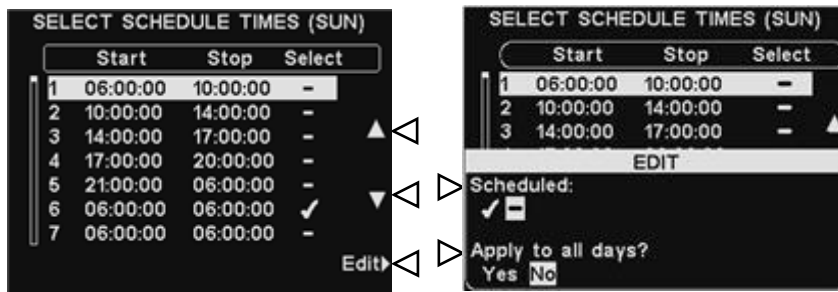
選択したメッセージのスケジュールを選択するには、**EDIT REMINDER MESSAGE**(リマインダーメッセージの編集)画面で**Schedule**(スケジュール)ボタンを押します。



SCHEDULE REMINDER MESSAGE(リマインダーメッセージのスケジュール)画面で、選択したメッセージを再生したい曜日のボタンを押します。

注:

リマインダーメッセージは、スケジュールされた時刻の最初にトリガーされ、再生されます。



注:

SELECT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の選択)画面にリストされている時間帯の開始と停止時刻を編集するには、**MESSAGE CENTER MENU**(メッセージセンターメニュー)に移動し、**Edit schedule times**(スケジュール時間の編集)を選択します。

SELECT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の選択)画面で、▲(アップ)と▼(ダウン)のボタンを押して 12 の使用可能な時間帯をスクロールし、選択したメッセージを再生する時間帯を選択します。希望する時間帯をハイライトしたら、**Edit**(編集)ボタンを押します。

EDIT(編集)画面で**Scheduled**(スケジュール)ボタンを押して、選択した時間帯に対してメッセージを✓(オン)または-(オフ)にします。毎日この時間帯にメッセージをオンまたはオフにする場合は、**Apply to all days**(全曜日に適用)ボタンを押して**Yes**(はい)を選択します。**No**(いいえ)を選択すると、この変更は選択された曜日だけに適用されます。

Back(戻る)ボタンを押して設定を保存します。

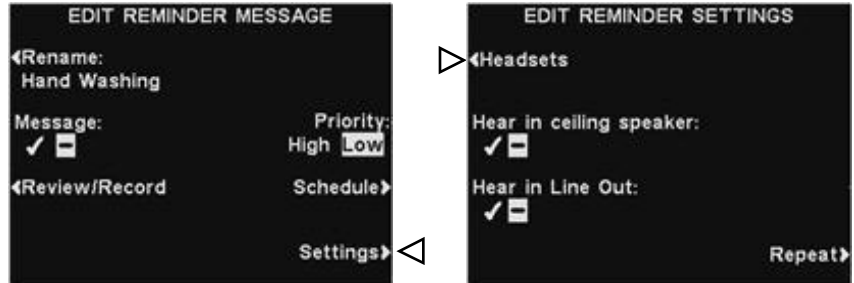
メッセージ再生の設定

● メッセージ再生先の設定

リマインダーメッセージの再生先を設定するには、**EDIT REMINDER MESSAGE** (リマインダーメッセージの編集) 画面で **Settings** (設定) ボタンを押し、**EDIT REMINDER SETTINGS** (リマインダー設定の編集) 画面で **Headsets** (ヘッドセット) ボタンを押します。

注:

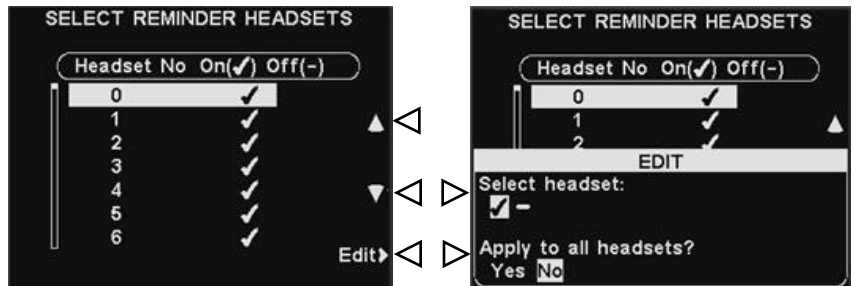
マルチレーンの操作は、[Appendix \(付録\)](#)、[Reminder Messages \(リマインダーメッセージ\)](#) を参照してください。



SELECT REMINDER HEADSETS (リマインダーヘッドセットの選択) 画面で ▲ (アップ) と ▼ (ダウン) ボタンを押して、選択したリマインダーメッセージを ✓ (オン) または - (オフ) にするヘッドセットの番号を選択し、**Edit** (編集) ボタンを押します。

注:

初期設定では、リマインダーメッセージはすべてのヘッドセットに再生されます。



選択したヘッドセットで、メッセージを「オン」または「オフ」にするには、**EDIT** (編集) 画面で **Select headsets** (ヘッドセットの選択) ボタンを押し、✓ (オン) または - (オフ) をハイライトします。すべてのヘッドセットで、メッセージを「オン」または「オフ」にするには、**Apply to all headsets?** (すべてのヘッドセットに適用しますか) ボタンを押し、**Yes** (はい) または **No** (いいえ) をハイライトします。

Back (戻る) ボタンを押して設定を保存します。



注:

天井スピーカー、あるいはラインからリマインダーメッセージを流す設定で、✓ (オン) を選択した後、メッセージが適正な音量で出力されるかを確認してください。

音量調整をするには、**MAIN MENU** (メインメニュー) 画面に戻り、音量調整をするために [Volume adjust \(音量調整\)](#) を選択してください。

選択したリマインダーメッセージを天井スピーカーから流す、または流さないようにするには、**Hear in ceiling speaker** (天井スピーカーから流す) ボタンを押して ✓ (オン) または - (オフ) をハイライトします。

選択したリマインダーメッセージをライン出力から流す、または流さないようにするには、**Hear in Line Out** (ライン出力から流す) ボタンを押して ✓ (オン) または - (オフ) をハイライトします。

● 繰り返し設定

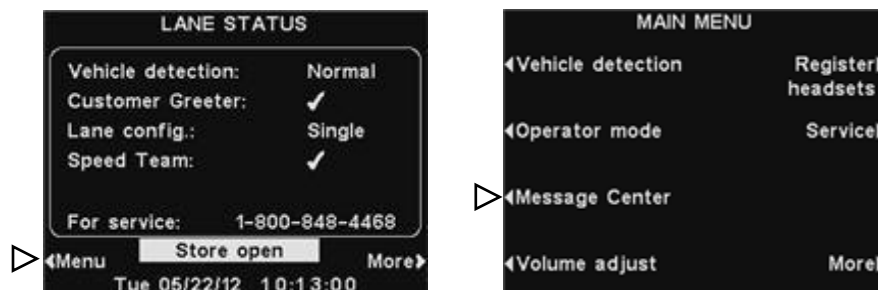
指定した間隔でリマインダーメッセージを繰り返し流すためには、**EDIT REMINDER MESSAGE**(リマインダーメッセージの編集)画面で**Repeat**(繰り返し)ボタンを押します。**REPEAT INTERVAL**(繰り返し間隔)画面で、**Time**(時間)フィールドの時間、分、秒(HH:MM:SS)のハイライト表示を、**◀**(左)または**▶**(右)ボタンを使い移動させ、**+**(アップ)と**-**(ダウン)ボタンを使用して、ハイライト表示のボックスの数字を変更します。リピート間隔の時間設定をすべて「0」にした場合は、繰り返し動作は禁止されます。

Back(戻る)ボタンを押して設定を保存します。



警告メッセージの設定

警告メッセージを再生する時間帯と場所を設定する、または警告メッセージに名前を付けたり録音したりするには、ベースステーションの**LANE STATUS** (レーン状態)画面で**Menu**(メニュー)ボタンを押してから、**MAIN MENU**(メインメニュー)で**Message Center**(メッセージセンター)ボタンを押します。



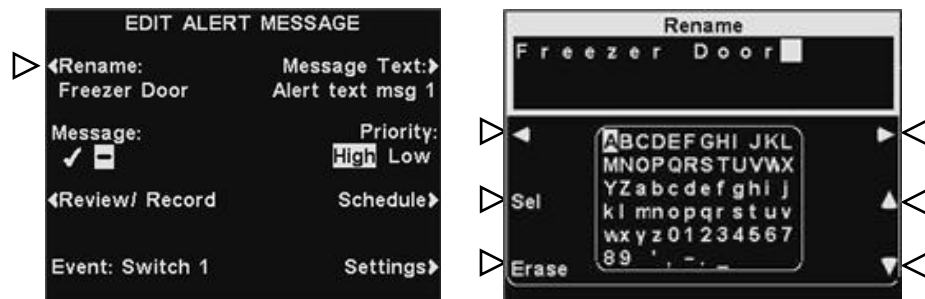
MESSAGE CENTER MENU(メッセージセンターメニュー)で**Alert messages**(警告メッセージ)ボタンを押します。



ALERT MESSAGES(警告メッセージ)画面でメッセージを選択するには、▲(アップ)または▼(ダウン)ボタンを押して希望するメッセージをハイライトします。メッセージを編集するには、メッセージを選択し、**Edit**(編集)ボタンを押します。

メッセージ名の変更

選択したメッセージの名前を変更するには、**EDIT ALERT MESSAGE**(警告メッセージの編集)画面で**Rename**(名前の変更)ボタンを押します。



RENAME(名前変更)画面で、**Erase**(消去)ボタンを押し、変更したい名前の文字を消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、入力したい英字または数字にハイライト表示を移動し、**Sel**(選択)ボタンを押して入力文字を決定します。この操作を繰り返して、変更する名前を入力します。入力が完了したら、**Back**(戻る)ボタンを押して新しい名前を保存します。

メッセージのオン/オフ



選択したメッセージをオンまたはオフにするには、**EDIT ALERT MESSAGE (アラートメッセージの編集)**画面で **Message (メッセージ)** ボタンを押し、**✓ (オン)** または **- (オフ)** をハイライトします。**Back (戻る)** ボタンを押して設定を保存します。

メッセージの確認または録音



選択した既存のメッセージを確認する、または新しいメッセージを録音するには、**EDIT ALERT MESSAGE (アラートメッセージの編集)**画面で **Review/Record (確認/録音)** ボタンを押します。

注:

確認のため再生されるメッセージは、レーンでの業務を妨害しないように、特定のヘッドセットから再生させます。

既存のメッセージを聞くには、**REVIEW/RECORD MESSAGE (メッセージの確認/録音)**画面で、**Review (確認)** ボタンを押します。**READY TO REVIEW (確認の準備)** 画面表示の操作を行います。**B** ボタンに触れ続けます。メッセージが **B** ボタンに触れ続けているヘッドセットだけに再生されます。



新しいメッセージを録音するには、**REVIEW/RECORD MESSAGE (メッセージの確認/録音)**画面で **Record (録音)** ボタンを押します。



画面の **READY TO RECORD (録音の準備)** の指示に従います。ヘッドセットの **B** ボタンに触れ続けると、最高 10 秒間のメッセージを録音できます。**Progress (プログレス)** インジケータが録音の残り時間を示します。

録音を終了するときは、**B** ボタンを離し、画面の **Review (確認)** ボタンを押し、**READY TO REVIEW (確認の準備)** 画面の指示に従い、録音が正しく行われたかを確認します。

注:

優先度が低に設定されている場合、メッセージは最後まで再生されるか、ヘッドセットからの A ボタン操作、B ボタン操作、レーンへの車両到着によって取り消されます。優先度が高に設定されている場合、メッセージは最後まで再生されます。もし、ヘッドセットの A ボタン操作、B ボタン操作により中断された場合は、ヘッドセットのボタン操作終了後に再生されません。

メッセージの優先度



アラートメッセージは優先度 高、低を選択することができます。

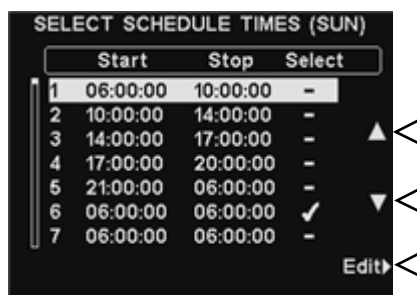
メッセージの優先度を設定するには、EDIT ALERT MESSAGE (アラートメッセージの編集) 画面で Priority (優先度) ボタンを押し、High (高) または Low (低) をハイライトさせます。Back (戻る) ボタンを押して設定を保存します。

メッセージのスケジュール

選択したメッセージのスケジュールを選択するには、EDIT ALERT MESSAGE (アラートメッセージの編集) 画面で Schedule (スケジュール) ボタンを押します。



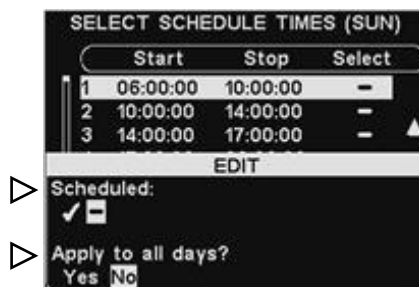
SCHEDULE ALERT MESSAGE (アラートメッセージのスケジュール) 画面で、選択したメッセージの再生日 (曜日) のボタンを押します。



SELECT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の選択) 画面で、▲ (アップ) と ▼ (ダウン) のボタンを押して 12 の使用可能な時間帯をスクロールし、選択したメッセージを再生する時間帯を選択します。希望する時間帯をハイライトしたら、Edit (編集) ボタンを押します。

注:

SELECT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の選択) 画面にリストされている時間帯の開始と停止時刻を編集するには、MESSAGE CENTER MENU (メッセージセンターメニュー) に移動し、Edit schedule times (スケジュール時間の編集) を選択します。



EDIT (編集) 画面で Scheduled (スケジュール) ボタンを押して、選択した時間帯に対してメッセージを ✓ (オン) または - (オフ) にします。毎日この時間帯にメッセージをオンまたはオフにする場合は、Apply to all days (全曜日に適用) ボタンを押して Yes (はい) を選択します。No (いいえ) を選択すると、この変更は選択された曜日だけに適用されます。

Back (戻る) ボタンを押して設定を保存します。

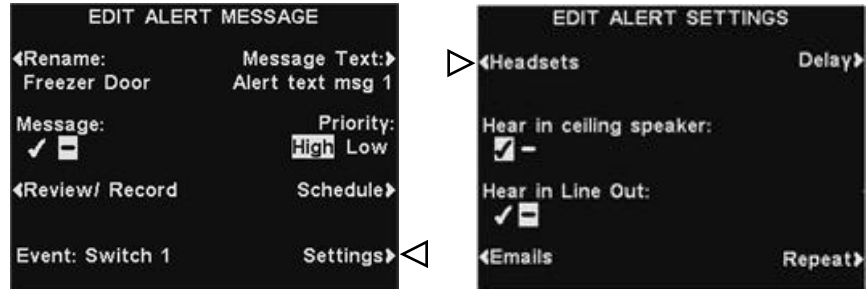
メッセージ再生の設定

● メッセージ再生先の設定

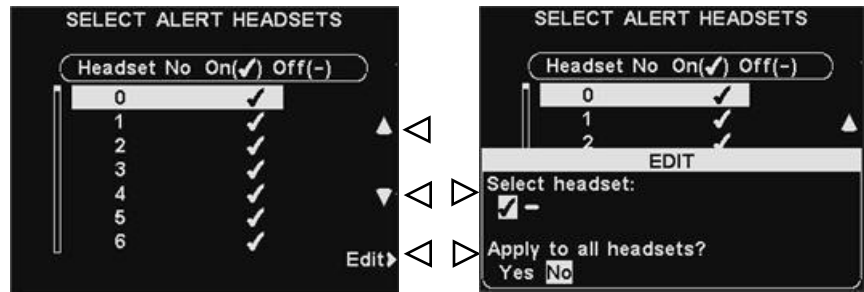
アラートメッセージの再生先を設定するには、**EDIT ALERT MESSAGE**(アラートメッセージの編集)画面で**Settings**(設定)ボタンを押し、**EDIT ALERT SETTINGS**(アラート設定の編集)画面で**Headsets**(ヘッドセット)ボタンを押します。

注:

マルチレーンの操作は、
[Appendix \(付録\)](#)、[Alert Messages \(警告メッセージ\)](#)
を参照してください。



SELECT ALERT HEADSETS(アラートヘッドセットの選択)画面で▲(アップ)と▼(ダウン)ボタンを押して、選択したアラートメッセージを✓(オン)または-(オフ)にするヘッドセットの番号を選択し、**Edit**(編集)ボタンを押します。



選択したヘッドセットで、メッセージを「オン」または「オフ」にするには、**EDIT**(編集)画面で**Select headsets**(ヘッドセットの選択)ボタンを押し、✓(オン)または-(オフ)をハイライトします。すべてのヘッドセットで、メッセージを「オン」または「オフ」にするには、**Apply to all headsets?**(すべてのヘッドセットに適用しますか)ボタンを押し、**Yes**(はい)または**No**(いいえ)をハイライトします。

Back(戻る)ボタンを押して設定を保存します。

注:

天井スピーカー、あるいはラインからアラートメッセージを流す設定で、✓(オン)を選択した後、メッセージが適正な音量で出力されるかを確認してください。

音量調整をするには、**MAIN MENU**(メインメニュー)画面に戻り、音量調整をするために[Volume adjust \(音量調整\)](#)を選択してください。



選択したアラートメッセージを天井スピーカーから流す、または流さないようにするには、**Hear in ceiling speaker**(天井から流す)ボタンを押して✓(オン)または-(オフ)をハイライトします。

選択したアラートメッセージをライン出力から流す、または流さないようにするには、**Hear in Line Out**(ライン出力から流す)ボタンを押して✓(オン)または-(オフ)をハイライトします。

● 再生遅延設定

警告メッセージがトリガーされてから再生が開始されるまでの遅延時間を設定するには、**Delay(遅延)**ボタンを押します。

DELAY BEFORE PLAY(再生前の遅延)画面で、**Delay(遅延)**フィールドの分と秒(MM:LL)のハイライトを、◀(左)または▶(右)ボタンを使い移動させ、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使用して、ハイライト表示のボックスの数字を変更します。

これらの設定を保存するには、**Back(戻る)**ボタンを押します。



● 繰り返し設定

警告メッセージを選択した間隔で繰り返すには、**Repeat(繰り返し)**ボタンを押します。

REPEAT INTERVAL(繰り返し間隔)画面で、**Time(時間)**フィールドの時間、分、秒(HH:MM:SS)のハイライト表示を、◀(左)または▶(右)ボタンを使い移動させ、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使用して、ハイライト表示のボックスの数字を変更します。

リピート間隔の時間設定をすべて「0」にした場合は、繰り返し動作は禁止されます。

これらの設定を保存するには、**Back(戻る)**ボタンを押します。

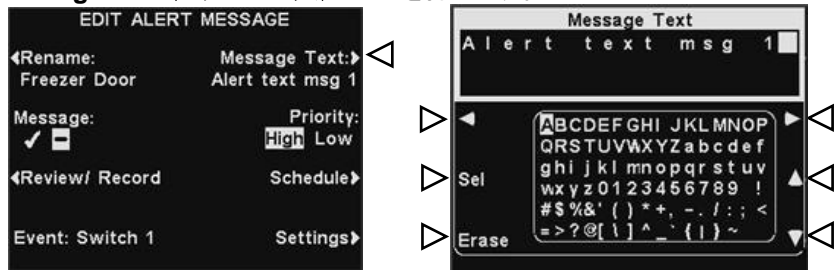


注:

メッセージの繰り返しはないので、リピート間隔はメールには対応しません。

警告メッセージメール

指定された警告がトリガー（発生）したときに、指定宛先へ送るメールを作成するために、**EDIT ALERT MESSAGE**（警告メッセージの編集）画面で **Message Text**（メッセージ文）ボタンを押します。

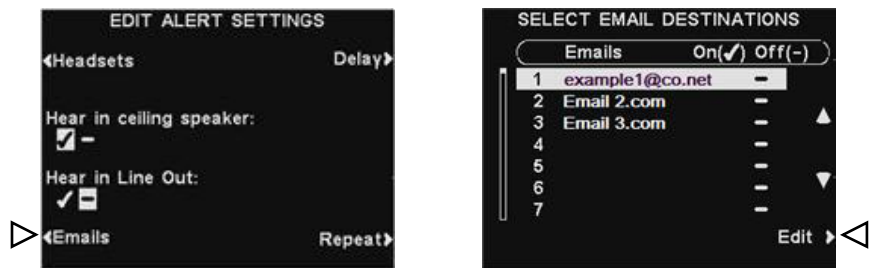


Message Text（メッセージ文）画面でメッセージ文を編集するには、変更したい現在の文字を、**Erase**（消去）ボタンを使用し、消去します。◀（左）、▶（右）、▲（上）、▼（下）ボタンを使用し、新しいメールに使用したい文字にハイライト表示を移動します。**Sel**（選択）ボタンを押してハイライト表示文字をメッセージとして入力します。入力が完了したら、**Back**（戻る）ボタンを押して保存します。

注:

送信先メールアドレスは正確に入力する必要があります。さもないと、警告トリガー（発生）したときにメールが送信されません。また、メール送信がオンになり、SMTP サーバーと SMTP ポートが正しく入力されなくてはなりません。50 ページの [Email/Texting（メール/テキスト）](#) を参照してください。

EDIT ALERT SETTINGS（警告設定の編集）画面で、警告メッセージを送りたいメールアドレスを選択するために **Emails**（メール）ボタンを押します。



SELECT EMAIL DESTINATIONS（メールアドレスの選択）画面で、選択されたメッセージのオンまたはオフを切り替えるために、▲（アップ）と▼（ダウン）のボタンを使用し、メール送信先を選択し、**Edit**（編集）ボタンを押します。



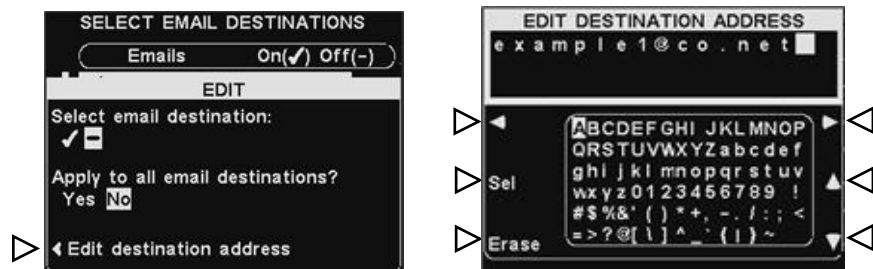
注:

サーバーの状態により、メールの送信先は7カ所まで選択できます。

EDIT（編集）画面において、メッセージ文を受信するメールアドレスを、選択あるいは消去するために、**Select email destinations**（メール送信先の選択）ボタンを押し、✓（オン）または -（オフ）をハイライトします。

すべての送信先を選択あるいは消去するために、**Apply to all email destinations?**（すべての送信先に適用？）ボタンを押し、**Yes**（はい）または **No**（いいえ）をハイライトさせ、**Back**（戻る）ボタンを押します。

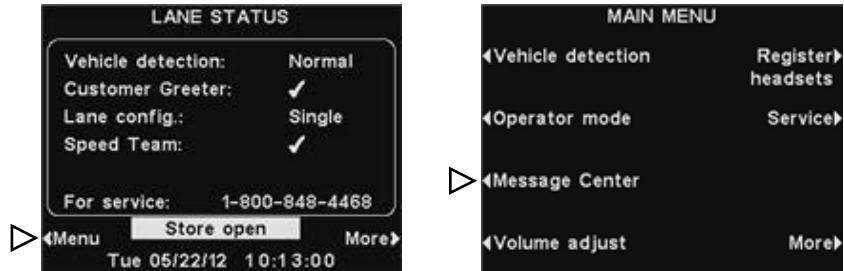
EDIT(編集)画面において、選択されたメールアドレスを編集するために、**Edit destination address**(メール送信先編集)ボタンを押します。**EDIT DESTINATION ADDRESS**(メール送信先編集)画面において、現在のメール送信先アドレスを変更するために、**Erase**(消去)ボタンを使用し、消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、新しいメール送信先アドレスに使用したい文字にハイライト表示を移動します。**Sel**(選択)ボタンを押してハイライト表示文字をメール送信先アドレスの文字として入力します。



入力が完了したら、**Back**(戻る)ボタンを押して新しいメールアドレスを保存します。

スケジュール時間

メッセージセンターの全メッセージを流すため、それぞれの日の時間帯をスケジュール設定するには、**LANE STATUS**(レーン状態)画面で**Menu**(メニュー)ボタンを押し、その後、**MAIN MENU**(メインメニュー)で**Message Center**(メッセージセンター)ボタンを押します。



MESSAGE CENTER MENU(メッセージセンターメニュー)で**Edit schedule times**(スケジュール時間の編集)ボタンを押します。



注:

すべての時刻は 24 時間形式です。

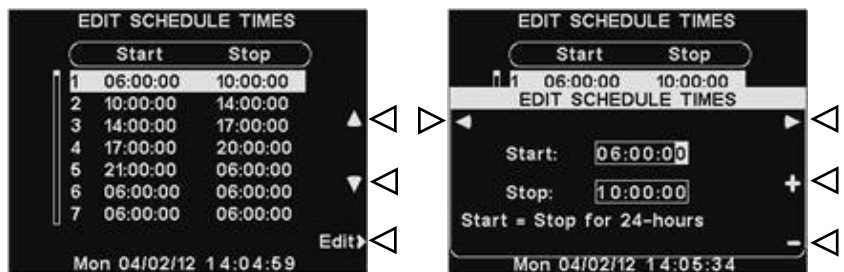
例:

0500=午前 5 時

1700=午後 5 時

0000=午前零時

12 の使用可能な時間帯があります。編集する時間帯を選択するには、▲(アップ)と▼(ダウン)のボタンを押して、**EDIT SCHEDULE TIMES**(スケジュール時間の編集)画面で 12 の使用可能な時間帯をスクロールします。希望する時間帯をハイライトしたら、**Edit**(編集)ボタンを押します。



注:

24 時間すべてを設定する場合は、**Start**(開始)と**Stop**(停止)時刻を同じ値にします。

EDIT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の編集)画面のドロップダウンリストで、開始と停止時刻を編集するには、◀(左)と▶(右)ボタンを使って**Start**(開始)または**Stop**(停止)フィールドのハイライト表示を移動させ、+ (アップ)と - (ダウン)ボタンを使ってハイライトされた数字を変更します。ひとつのフィールドから他のフィールドに移動するには、ハイライト表示がひとつのフィールドから他のフィールドに移動するまで、◀(左)または▶(右)ボタンを繰り返し押します。

これらの設定を保存するには、**Back**(戻る)ボタンを押します。

音量調整

注:

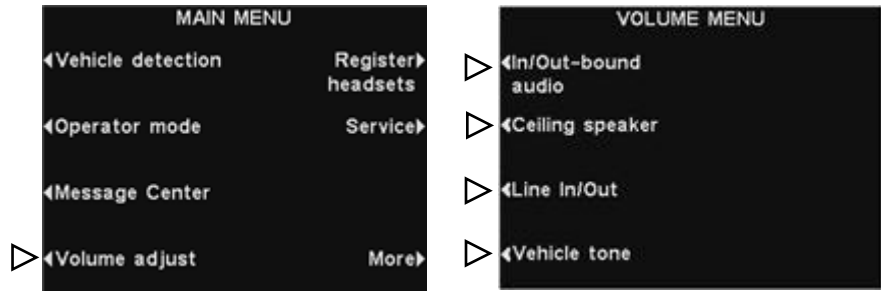
音量調整は、通常店舗マネージャーのような権限を持った方により行われます。音量調整を行う場合、パスワードの入力を求めるようにします。

パスワードの設定が必要な場合は [Appendix \(付録\)](#)、[Access control \(アクセス制御\)](#) を参照してください。

マルチレーンの設定の場合、**VOLUME MENU (音量メニュー)** 画面はレーンごとに分割され表示されます。設定はシングルレーンの場合と同じとなります。

送信と着信の音声、警告音、メッセージの繰り返しメッセージの音量を調整するには、ベースステーションの **LANE STATUS (レーン状態)** 画面で **Menu (メニュー)** を選択した後、**MAIN MENU (メインメニュー)** で **Volume adjust (音量調整)** を選択します。

VOLUME MENU (音量メニュー) 左側のボタンを押して、調整したい音量を選択します。

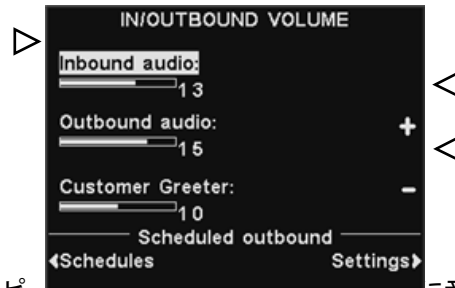


入/出力音量調整

IN/OUTBOUND VOLUME (入出力音量調整) 画面で、調整したい音量項目を選択し、+ (アップ) と - (ダウン) ボタンを使って、音量レベルを上げたり、下げたりします。最初の二つの設定は、屋外のスピーカーとマイクロフォンの音量調整が行えます。3番目の項目は、メッセージセンターの Customer Greeter message (顧客歓迎メッセージ) の出力音量を調整します。もし、音量を 0 にすると、この機能は停止され、一切聞こえなくなります。デュアルレーンの場合、これらの設定はレーン 1 とレーン 2 のそれぞれを設定できます。

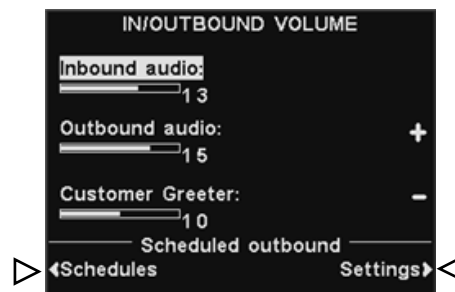
注:

Outbound audio (出力音声) の音量はスケジュール出力機能が無効の場合、この値が常に選択されます。



自動的に屋外スピーカーの音量を変更(例えば、夜間に音量を下げる)するには、画面下のほうの **Scheduled outbound (スケジュール出力)** で、**Scheduled (スケジュール)** を選択し、次の **Settings (設定)** を行います。

次に表示される画面で、調整したい音量を選択し、+ (アップ) と - (ダウン) ボタンを使って、音量レベルを上げたり、下げたりします。

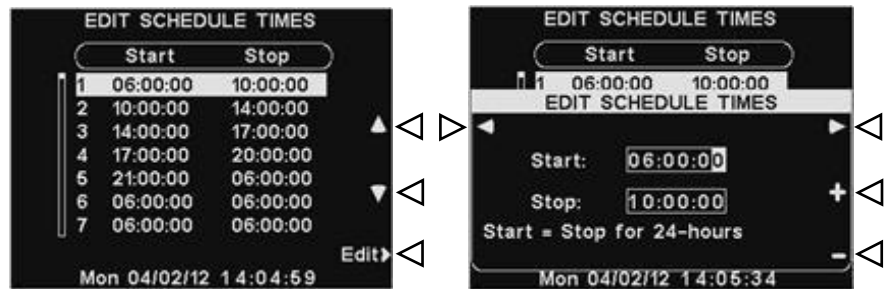


スケジュール

最大7種類の時間間隔を設定できます。これらの時間間隔はスケジュール出力音量設定にだけ使用されます。これらは、他のメッセージ出力のスケジュールには影響しません。

編集する時間間隔を選択するには、▲(アップ)と▼(ダウン)のボタンを使用して、利用できる時間間隔をスクロールします。希望する時間間隔がハイライトされたら、**Edit(修正)**ボタンを押します。

ドロップダウン表示される**EDIT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の編集)**画面で、スタートあるいはストップ時刻を編集するために、◀(左)と▶(右)ボタンを使って**Start(開始)**または**Stop(停止)**フィールドのハイライト表示を移動させ、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使ってハイライトされた数字を変更します。ひとつのフィールドから他のフィールドに移動するには、ハイライト表示がひとつのフィールドから他のフィールドに移動するまで、◀(左)または▶(右)ボタンを繰り返し押します。



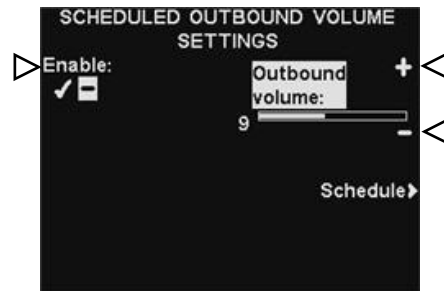
これらの設定を保存するには、**Back(戻る)**ボタンを押します。

設定

注:

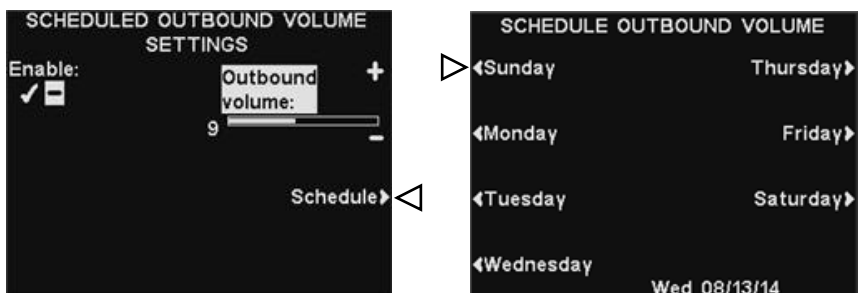
この **Outbound volume(出力音声)** の音量はスケジュール出力機能が **enable(有効)** の場合、スケジュールされた曜日と時刻にだけ有効になります。スケジュール期間だけこの **Outbound volume(出力音声)** を有効にするには、**Enable(有効)** ボタンを押し、✓(オン)をハイライトさせ選択します。

選択された曜日と時刻に有効となる出力音量を大きく、あるいは小さくするには、**Outbound volume(出力音量)** の+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使用します。

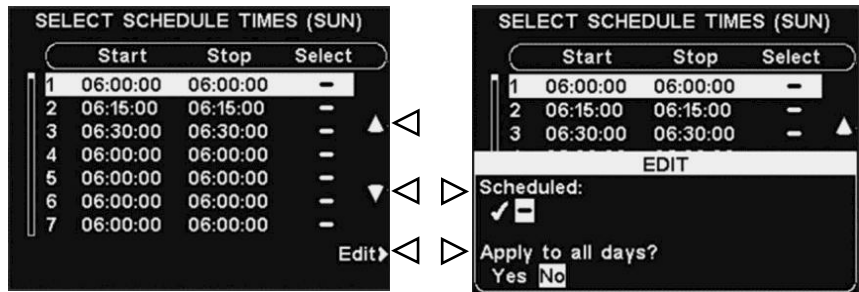


スケジュール

設定された出力音量をいつ有効にするかを設定するには、**SCHEDULED OUTBOUND VOLUME SETTINGS(スケジュール出力音量の設定)**画面で、**schedule(スケジュール)**を選択します。



SCHEDULED OUTBOUND VOLUME (スケジュール出力音量)画面でスケジュールされた出力音量で運用したい曜日を選択します。



SELECT SCHEDULE TIMES (スケジュール時刻の設定)画面で、▲(アップ)と▼(ダウン)のボタンを使用して、7つのスケジュール時間間隔から、適応したい時間間隔をスクロールします。希望する時間間隔にハイライトが来たら、**Edit (修正)**ボタンを押します。

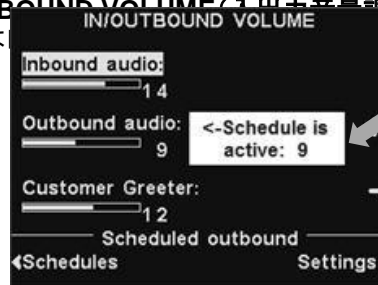
EDIT (修正)画面で、**Scheduled (スケジュール)**ボタンを押し、選択したスケジュール時間間隔に対し、✓(オン)または-(オフ)をハイライトします。もし、出力音量の設定をスケジュールされた出力音量で毎日行いたい場合は、**Apply to all days? (全曜日に適用)**ボタンを押し、**Yes (はい)**をハイライトさせます。もし、**No (いいえ)**をハイライトさせた場合は、選択した曜日だけにこの変更が適用されます。

ヘルプが必要な場合は、**Help (ヘルプ)**ボタンを押します。(英文で表示されます)

これらの設定を保存するには、**Back (戻る)**ボタンを押します。

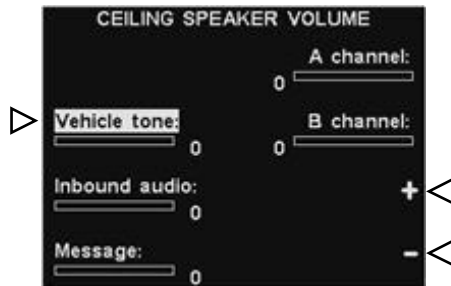
確認

スケジュールされた曜日と時刻に出力音量が変更されている間は、現在の出力音量が、**IN/OUTBOUND VOLUME (I/O 出力音量調整)**画面に白いボックスが表示され、音量は表示されず、音量は表示されず。



天井スピーカー音量

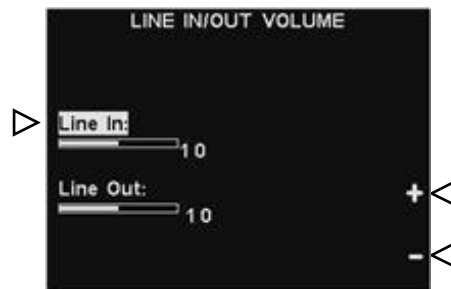
天井スピーカーからの音量を上げたり、下げたりするには、**VOLUME MENU** (音量メニュー)画面で、**Ceiling speaker**(天井スピーカー)ボタンを押します。**CEILING SPEAKER VOLUME**(天井スピーカー音量調整)画面で、調整したい音量項目を選択し、**+**(アップ)と**-**(ダウン)ボタンを使って、音量レベルを上げたり、下げたりします。もし、音量を0にすると、この機能は停止され、選択した項目の音は、一切聞こえなくなります。



これらの設定を保存するには、**Back**(戻る)ボタンを押します。

ライン入出力

ベースステーションに接続された機器への入出力音量を上げたり、下げたりするには、**LINE IN/OUT VOLUME**(ライン入出力音量調整)画面で、**Line In**(ライン入力)または**Line Out**(ラインアウト)を選択し、**+**(アップ)と**-**(ダウン)ボタンを使用します。

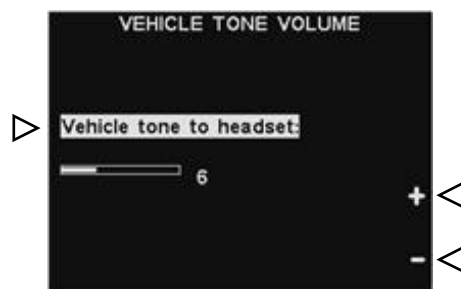


これらの設定を保存するには、**Back**(戻る)ボタンを押します。

ヘッドセットへの車両到着音

VEHICLE TONE VOLUME(車両到着音音量)設定はヘッドセットに聞こえる警告音の調整だけを行います。

警告音を上げたり、下げたりするには、**+**(アップ)と**-**(ダウン)ボタンを使用します。



これらの設定を保存するには、**Back**(戻る)ボタンを押します。

有線バックアップシステムの操作

有線バックアップシステムを使用するには、ベースステーションにスイッチャー基板(オプション)が必要です。スイッチャー基板がある場合、図 8 に示されるように、ベースステーション下部にスイッチがあります。

シングルレーンドライブスルー操作の場合、スイッチはLane 1(レーン 1)です。

デュアルレーンドライブスルー操作の場合、ベースステーションには 2 つのスイッチ基板があることがあります。デュアルレーンドライブスルー操作の場合、ベースステーションには 2 つのスイッチ基板があることがあります。その場合、それらのスイッチはベースステーション下部にあり、1 つはLane 1(レーン 1)用で、もう 1 つはLane 2(レーン 2)用になります。

- 有線バックアップシステムを使用するには、Lane 1(レーン 1)および/または Lane 2(レーン 2)のスイッチをBackup(バックアップ)(入力)の位置にします。
- 有線バックアップシステムを使い終わったら、Wireless(ワイヤレス)(出力)の位置にスイッチを戻します。

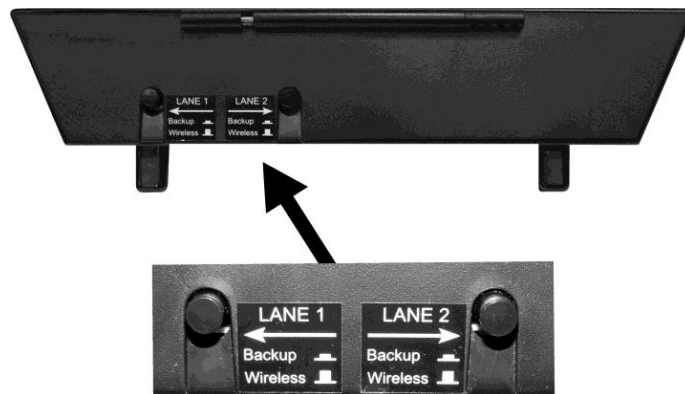


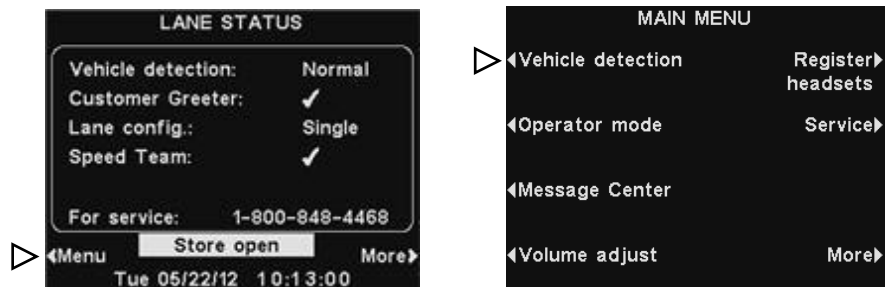
図 8. ベースステーション下部の有線バックアップ用スイッチ

車両検出

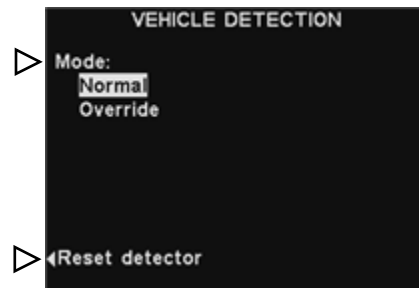
スピーカーポストまたはメニューボードへの車両進入をシミュレートして車両検出器の機能をテストすることができます。

これを行う前に、まず車両(または金属物)が検出地点にないことを必ず確認してください。

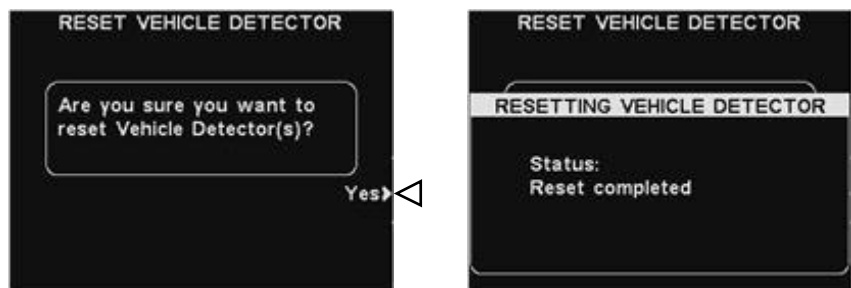
ベースステーションのLANE STATUS(レーン状態)画面でMenu(メニュー)ボタンを押した後、MAIN MENU(メインメニュー)画面のVehicle detection(車両検出)ボタンを押します。



VEHICLE DETECTION(車両検出)画面で、Mode(モード)ボタンを押し、Override(オーバーライド)を選択します。これにより、車両警告音がヘッドセットに流れ、屋外スピーカーポストからの音声聞こえます。通常の操作に戻るには、もう一度Mode(モード)ボタンを押し、Normal(通常)を選択します。



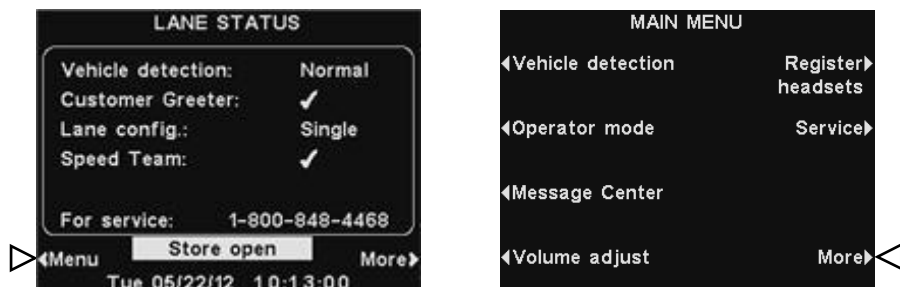
ベースステーションに車両検出器基板(VDB)があり、車両が到着したにもかかわらず屋外スピーカーからの音声が流れない、または警告音が鳴らないなど車両の検出に問題が生じた場合は、車両検出器をリセットするためにVEHICLE DETECTION(車両検出)画面でReset detector(検出器のリセット)ボタンを押し、その後、Yes(はい)ボタンを押します。



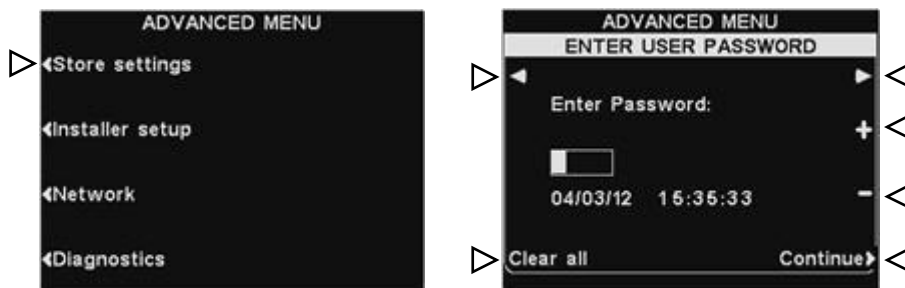
画面に「Reset Completed(リセットが完了しました)」というメッセージが表示され消えた後、Back(戻る)ボタンを押して終了します。

店舗の設定

店舗の設定にアクセスするには、ベースステーションのLANE STATUS(レーン状態)画面でMenu(メニュー)ボタンを押した後、MAIN MENU(メインメニュー)画面でMore(詳細)ボタンを押します。



ADVANCED MENU(詳細メニュー)でStore settings(店舗の設定)ボタンを押します。



注:

店舗の設定は通常、店舗のマネージャーなど権限を持つ個人によってのみ作成、変更されます。

店舗の設定を変更するにはパスワードが必要です。

パスワードが必要な場合は [Appendix\(付録\)](#)、[Access Control\(アクセス制御\)](#) を参照ください。

注:

初めてパスワードを設定するには、STORE SETTINGS(店舗の設定)画面の Set Password(パスワードの設定)ボタンを押し、SET USER PASSWORD(ユーザーパスワードの設定)画面で、◀(左)、▶(右)、+(アップ)、-(ダウン)ボタンを使用し、新しいパスワードを入力します。

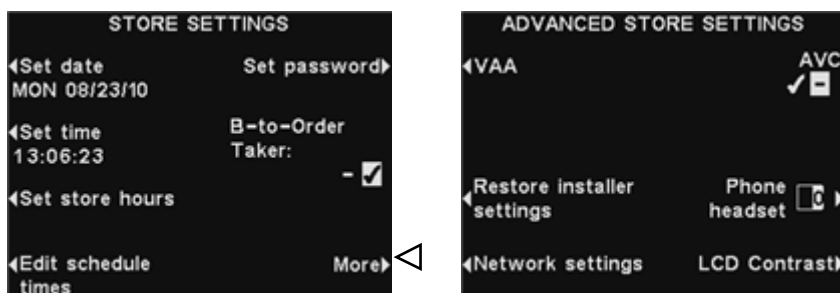
入力終了後、Back(戻る)ボタンを押してパスワードを保存します。この後、Message Center(メッセージセンター)、Network(ネットワーク)、Volume Settings(音量設定)、Store Settings(店舗設定)でこのパスワードが求められます。

ユーザーパスワード

店舗の設定を変更するには、パスワードが必要な場合があります。パスワードが必要とされる場合は、ENTER USER PASSWORD(ユーザーパスワードの入力)画面が表示されます。必要とされない場合は、STORE SETTINGS(店舗の設定)画面が即時表示されます。

パスワードがある場合、Enter Password(パスワード入力)フィールドのハイライト表示を、◀(左)または▶(右)ボタンを使い移動させ、+(アップ)ボタンを使用し、アルファベットの文字を選択し、-(ダウン)ボタンを使用して、数字を選択します。パスワードの文字を入力する毎に、▶(右)ボタンを使いハイライト表示されているボックスを次の位置に移動し、次の文字を入力します。新しいパスワードで入力を最初からやり直す場合は、Clear All(すべてを消去)ボタンを押します。パスワード全体を入力した後、Continue(継続する)ボタンを押し、STORE SETTINGS(店舗の設定)画面を表示します。

追加のADVANCED STORE SETTINGS(店舗の詳細設定)を表示するには、More(詳細)ボタンを押します。

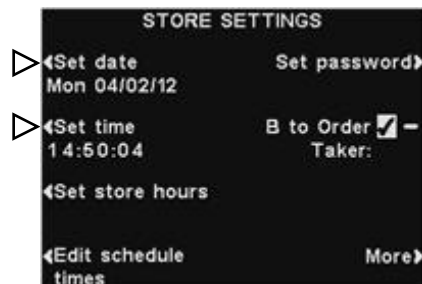


日付と時刻の設定

日付と時刻の設定を変更するには、**STORE SETTINGS(店舗の設定)**画面で**Set date(日付の設定)**または**Set time(時刻の設定)**ボタンを押します。

注:

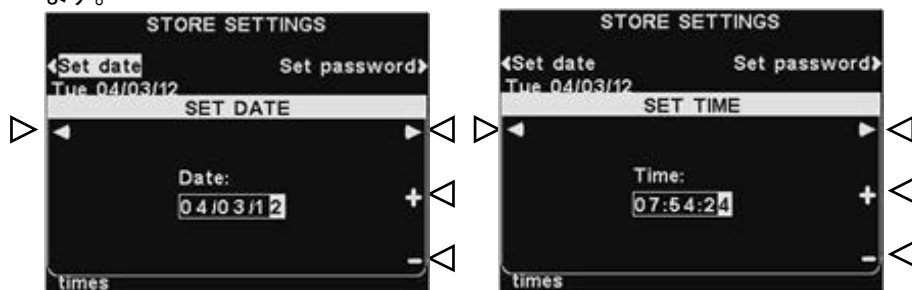
すべての時刻表示は24時間表記です。



SET DATE(日付の設定)または**SET TIME(時刻の設定)**画面で、◀(左)と▶(右)ボタンを使ってDate(日付)またはTime(時刻)フィールドのハイライトを移動させ、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使ってハイライトされた数字を変更します。

ヒント!

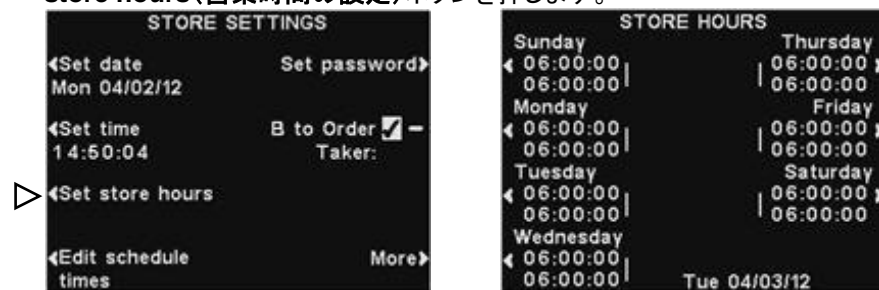
時刻の設定を行なう場合は、正確な時刻より少し前の時刻を設定し、正確な時刻に設定が一致するとき、**Back(戻る)**ボタンを押します。



これらの設定を保存するには、**Back(戻る)**ボタンを押します。

営業時間の設定

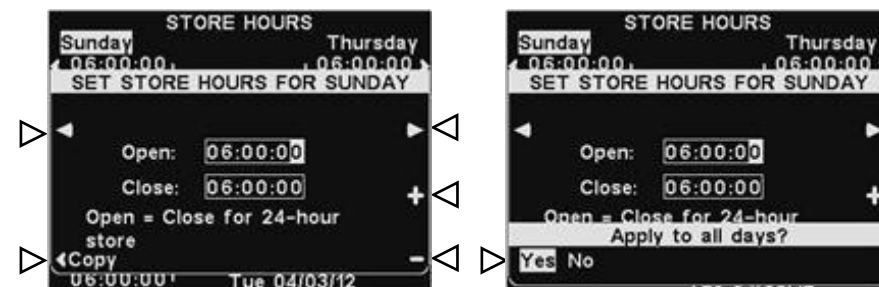
営業時間を変更するには、**STORE SETTINGS(店舗の設定)**画面で**Set store hours(営業時間の設定)**ボタンを押します。



変更したい曜日の横のボタンを押します。◀(左)と▶(右)ボタンを使って**Open(開店)**または**Close(閉店)**フィールドのハイライトを移動した後、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使ってハイライト表示の数字を変更します。ひとつのフィールドから他のフィールドに移動するには、◀(左)または▶(右)ボタンを使って、ハイライトがひとつのフィールドから他のフィールドに移動するまでボタンを繰り返し押します。営業時間をすべての曜日に適用する場合は、**Copy(コピー)**ボタンを押した後、**Apply to all days? (全曜日に適用しますか?)**ボタンを押して**Yes(はい)**をハイライトします。**No(いいえ)**を選択すると、この変更は選択された曜日だけに適用されます。

注:

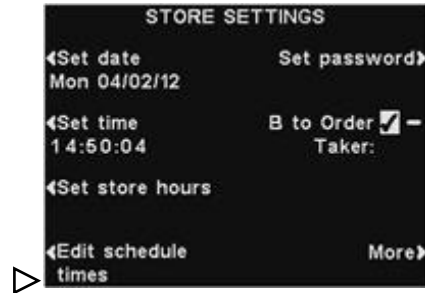
もし、店舗が24時間営業の場合、**Open(開店)**と**Close(閉店)**に同じ時刻を設定します。



これらの設定を保存するには、**Back(戻る)**ボタンを押します。

スケジュール時間の編集

最大 12 までのスケジュール時間を設定して、メッセージセンターからメッセージを再生する時間帯を確立できます。スケジュール時間は必要に応じて編集可能です。スケジュール時間を変更するには**STORE SETTINGS**(店舗の設定)画面で**Edit schedule times**(スケジュール時間の設定)ボタンを押します。



注:

EDIT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の編集)画面には、**MESSAGE CENTER**(メッセージセンター)からもアクセスできます。

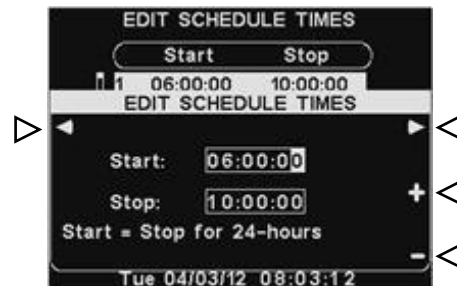
EDIT SCHEDULE TIMES(スケジュール時間の編集)画面で▲(アップ)と▼(ダウン)ボタンを押して、時間帯リスト内を上下に移動します。▼(ダウン)ボタンを押し続けることで7を超え、12 まで、選択することができます。



注:

これらの時間帯を変更するとメッセージセンターのメッセージスケジュールのすべてが影響されます。

変更したい時間帯がハイライトされたら、**Edit**(編集)ボタンを押します。



注:

店舗が営業中で、スケジュールを24 時間実行させたい場合は、**Stop**(停止)と**Start**(開始)時間を同じにします。

◀(左)と▶(右)ボタンを使って**Start**(開始)または**Stop**(停止)フィールドのハイライトを移動した後、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使ってハイライトされた数字を変更します。ひとつのフィールドから他のフィールドに移動するには、ハイライト表示がひとつのフィールドから他のフィールドに移動するまで、◀(左)または▶(右)ボタンを繰り返し押します。

これらの設定を保存するには、**Back**(戻る)ボタンを押します。

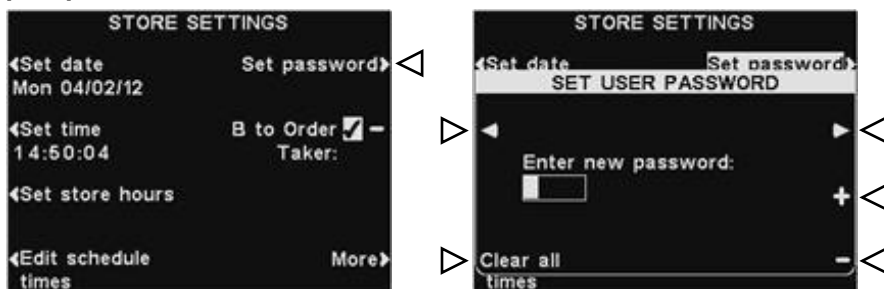
ユーザーパスワードの設定

ユーザーパスワードはMessage Center(メッセージセンター)、Network(ネットワーク)、Volume Settings(音量調整設定)、Store Settings(店舗設定メニュー)を保護するために使用します。このパスワードはInstaller Settings(インストーラー設定)で使用されるパスワードとは違います。

セキュリティのため、または従業員の雇用が終了した際は、**STORE SETTINGS(店舗の設定)**画面で入力するパスワードを定期的に変更する必要があります。これを行なうには、**STORE SETTINGS(店舗の設定)**画面で**Set password(パスワード設定)**ボタンを押します。現行のパスワードは、**SET USER PASSWORD(ユーザーパスワードの設定)**画面の**Enter new password(新規パスワード入力)**フィールドに表示されます。

注:

EOS|HD のメニューへのアクセス制御のために、どのようにパスワードを使用するか説明は [Appendix \(付録\)](#)、[Access Control \(アクセス制御\)](#) を参照してください。

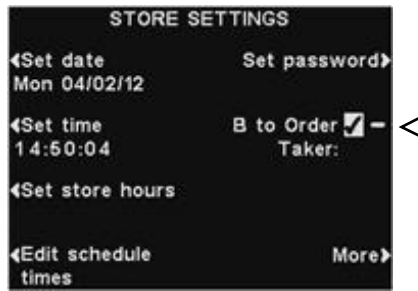


◀(左)と▶(右)ボタンを使って、**Enter new password(新規パスワード入力)**フィールドのハイライト表示のボックスを移動します。ハイライト表示のボックスに+**(アップ)**ボタンを使って英字を入力し、-**(ダウン)**ボタンを使って数字を入力します。A表示の時に-**(ダウン)**ボタンを押すと数字を入力できます。9表示のときに+**(アップ)**ボタンを押すと英字を入力できます。▶(右)ボタンを押して、ハイライト表示のボックスを次の位置に移動し、次の文字を入力します。新しいパスワードを最初から入力直す場合は、**Clear All(すべてを消去)**ボタンを押します。新しいパスワードを入力した後、**Back(戻る)**ボタンを2回押して新しいパスワードを保存し、**ADVANCED MENU(詳細メニュー)**に戻ります。

B-to-Order Taker(ビーツーオーダーテイカー)

B-to-Order Taker(ビーツーオーダーテイカー)機能により、オーダー受付係はAボタンでお客様と交信中に、Bボタンの交信を聞く(または聞かない)ようにすることができます。

STORE SETTINGS(店舗の設定)画面で**B-to-Order Taker(ビーツーオーダーテイカー)** ボタンを押して **✓(オン)**を選択すると、オーダー受付係はAボタンが押されている間もBボタン交信を聞くことができます。-(**オフ**)を選択すると、オーダー受付係はAボタンが押されている間はBボタン交信を聞くことはできません。



この設定を保存するには、**Back(戻る)**ボタンを押します。

VAA 調整

VAA設定を調整して、エコーやハウリング、変動する着信音声レベルを取り除くことができます。

VAAレベルを調整するには、**STORE SETTINGS**(店舗の設定)画面で**More**(詳細)ボタンを押します。**ADVANCED STORE SETTINGS**(店舗の詳細設定)画面で**VAA**ボタンを押します。

注:

デュアルレーンドライブスルー操作の場合、**ADVANCED STORE SETTINGS**(店舗の詳細設定)画面に**VAA Lane 1**(VAA レーン1)と**VAA Lane 2**(VAA レーン2)が表示されます。調整したいそれぞれのレーンについて設定を変更します。



VAAオンまたはオフ:

VAA機能をオンまたはオフにするには、**VAA**ボタンを押し、**✓**(オン)または**-**(オフ)をハイライトします。

VAA感度レベル:

これは、VAAの回路をアクティブにするために必要なオーダー受付係の声の音量レベルです。お客様に話しかけても着信レベルが自動的に下がらない場合は、**VAA sensitivity**(VAA 感度)ボタンを押し、お客様との会話中に着信音声の音量が下がり、お客様との会話を止めると通常のレベルに戻るようになるまで、**+**(アップ)と**-**(ダウン)ボタンを押します。

VAA減衰レベル:

これは、オーダー受付係がお客様と会話する際に、着信音量レベルを下げる量を示します。オーダー受付係が話す際に着信音声を全く聞くことができない場合は、**VAA attenuation**(VAA 減衰)をより低いレベルに調整します。この調整を行なうには、**VAA attenuation**(VAA 減衰)ボタンを押し、希望するレベルに達するまで**+**(アップ)と**-**(ダウン)ボタンを押します。減衰機能を使用しない場合は、この設定を調整せずに**VAA**をオフにしてください。

インストーラ設定の復元

すべてのカスタム設定を削除し、EOS|HDインストーラの初期設定に戻すには、**ADVANCED STORE SETTINGS**(店舗の詳細設定)画面で**Restore installer settings**(インストーラ設定の復元)ボタンを押した後、**RESTORE INSTALLER SETTINGS**(インストーラ設定値の復元)画面で**Restore**(復元)ボタンを押します。ベースが自動的にリセットされ、インストーラの設定が復元されます。



自動音量コントロール

自動音量コントロール(AVC)がオンになっていると、スピーカーポスト環境の騒音に合わせて屋外スピーカーの音量レベルが自動調整されます。過度の騒音がある場合、スピーカーから流れるオーダー受付係の音声レベルが上がります。ドライブスルーの周辺が静かになると、音声レベルが下がるように調整されます。

自動音量コントロールをオンまたはオフにするには、**STORE SETTINGS**(店舗の設定)画面で**More**(詳細)ボタンを押した後、**ADVANCED STORE SETTINGS**(店舗の詳細設定)画面で**AVC**(自動音量コントロール)ボタンを押し、**✓**(オン)または**-**(オフ)をハイライトします。

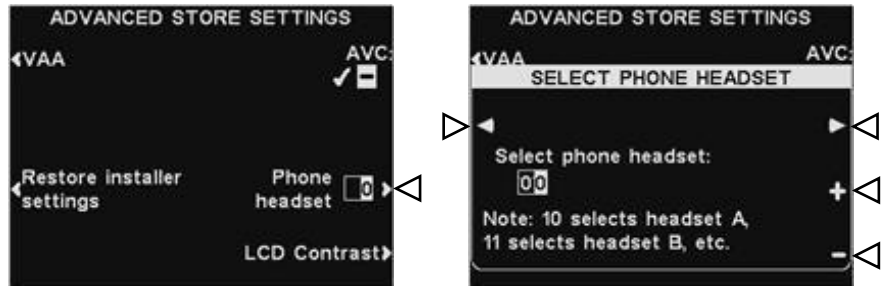


注:

デュアルレーンドライブスルー操作の場合、**ADVANCED STORE SETTINGS**(店舗の詳細設定)画面に**AVC Lane 1**(AVCレーン1)と**AVC Lane 2**(AVCレーン2)が表示されます。AVCをオン、またはオフしたいそれぞれのレーンについてボタンを押します。

電話応答ヘッドセット

ベースステーションにHME電話インターフェースが接続されている場合、電話応答を行うヘッドセットを指定できます。これを行うためには、**ADVANCED STORE SETTINGS**(店舗の詳細設定)画面で**Phone headset**(電話対応ヘッドセット) ボタンを押します。**SELECT PHONE HEADSET**(電話大砲ヘッドセットの選択)画面で、◀(左)と▶(右)ボタンを使って**Select phone headset**(電話対応ヘッドセットの選択)フィールドのハイライトを移動した後、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使ってヘッドセット番号を入力します。



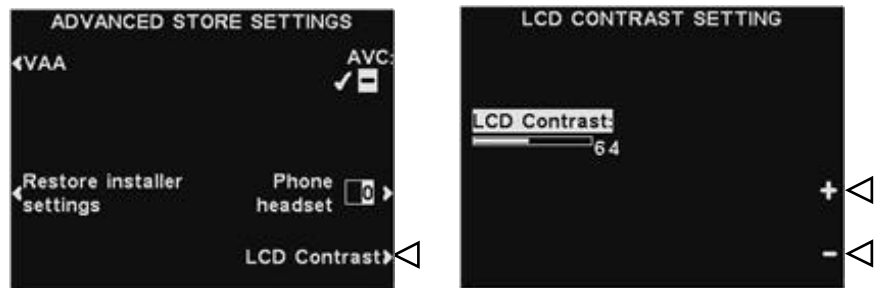
この設定を保存するには、**Back**(戻る)ボタンを押します。

LCD コントラスト

注:

LCD コントラストは工場で設定されており、通常、調整する必要はありません。

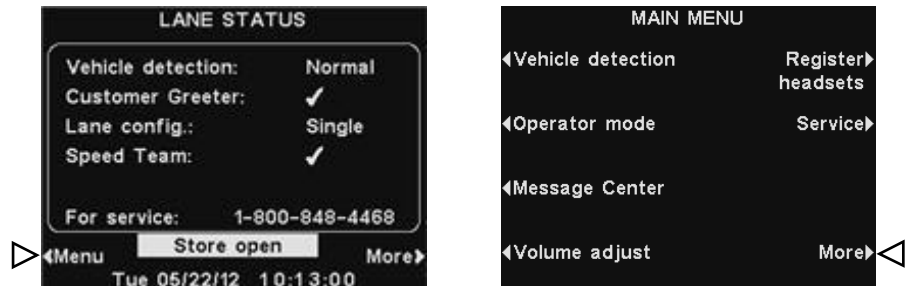
ベースステーション画面の明/暗のコントラストを調整するには、**STORE SETTINGS**(店舗の設定)画面で**More**(詳細)ボタンを押します。**ADVANCED STORE SETTINGS**(店舗の詳細設定)画面で**LCD Contrast**(LCD コントラスト)ボタンを押した後、+(アップ)(より明るい)と-(ダウン)(より暗い)のボタンを押してコントラストを調整します。完了したら、**Back**(戻る)ボタンを押して、設定を保存し、希望する画面に戻ります。



ネットワークの設定

ベースステーションがコンピュータネットワークに接続されている場合は、ネットワーク設定は、EOS|HDインストラーによって設定されています。

ネットワーク接続に関する問題で HMEテクニカルサポートに連絡を取ると、ネットワーク設定の変更を指示される場合があります。その場合、ベースステーションのLANE STATUS(レーン状態)画面でMenu(メニュー)ボタンを押した後、MAIN MENU(メインメニュー)でMore(詳細)ボタンを押します。



注:

ネットワークの設定は通常、店舗のマネージャーなど権限を持つ個人によってのみ作成、変更されます。

ネットワークの設定を変更するにはパスワードが必要です。

パスワードが必要な場合は [Appendix \(付録\)](#)、[Access Control \(アクセス制御\)](#) を参照ください。

ADVANCED MENU(詳細メニュー)でNETWORK SETTINGS(ネットワーク設定)画面を開くため、Network(ネットワーク)ボタンを押します。

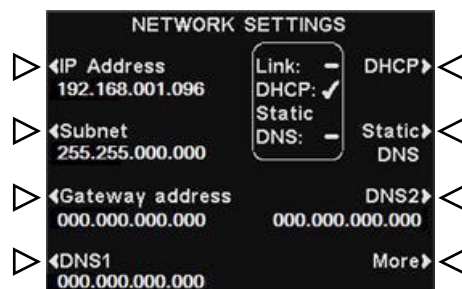


基本的なネットワークの設定

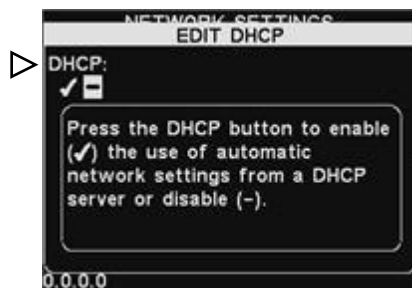
注:

いくつかのネットワーク設定の変更はベースステーションを自動的にリセットします。

NETWORK SETTINGS(ネットワーク設定)画面で、変更したい項目に対応するボタンを押します。ネットワークの設定に必要なアドレス入力が求められる場合、押されたボタンに対応する画面が表示されます。More(詳細)ボタンを押すと、ネットワークの追加設定が行えるADVANCED NETWORK SETTINGS(ネットワーク詳細の設定)画面が表示されます。



- **DHCP** — ローカルネットワーク上に設定されているDHCPサーバーからネットワーク設定を自動的に行うことを許可します。



設定を変更するため、**DHCP**ボタンを押し、✓(オン)または-(オフ)をハイライトします。もし、-(オフ)がハイライトされている場合、ベースステーションは**NETWORK SETTINGS**(ネットワーク設定)と**ADVANCED NETWORK SETTINGS**(ネットワーク詳細の設定)画面で入力された静的ネットワーク情報を使用します。

- **IP Address (IPアドレス)** — ローカルネットワーク上で個体識別に使用される、ベースステーションのインターネット・プロトコル・アドレスです。



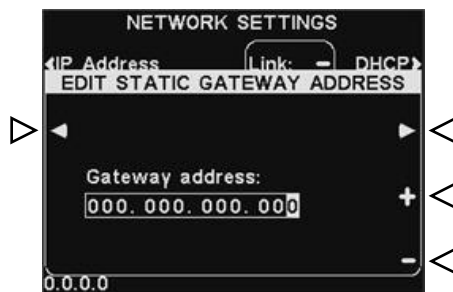
この設定をするには、**IP Address (IPアドレス)**ボタンを押し、**EDIT STATIC IP ADDRESS**(静的IPアドレスの編集)画面で、◀(左)と▶(右)ボタンを使い、変更したい数字にハイライトを移動した後、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使って希望の数字を入力します。

- **Subnet (サブネット)** — ゲートウェイ経由の外部ネットワーク、あるいはローカルネットワークにネットワークパケットを出力する際、ベースステーションを識別するために使用される値を設定します。



この設定をするには、**Subnet (サブネット)**ボタンを押し、**EDIT STATIC IP SUBNET**(静的サブネットの編集)画面で、◀(左)と▶(右)ボタンを使い、変更したい数字にハイライトを移動した後、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使って希望の数字を入力します。

- **Gateway Address (ゲートウェイアドレス)** — ネットワークパケットを外部ネットワークからローカルへ、またその逆方向に転送するのに使用する、ローカルネットワーク上のルーターアドレスを設定します。



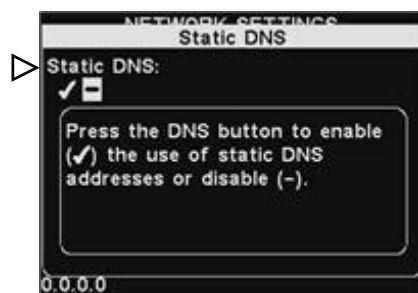
ゲートウェイアドレス編集をするには、**Gateway address (ゲートウェイアドレス)**ボタンを押し、**EDIT STATIC GATEWAY ADDRESS**(静的ゲートウェイアドレスの編集)画面で、◀(左)と▶(右)ボタンを使い、変更したい数字にハイライトを移動した後、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使って希望の数字を入力します。

- **DNS1 (DNS1 アドレス) & DNS2 (DNS2 アドレス)** – ホスト/ドメイン名を解決し、IPアドレスに変換するドメインネームサーバーのアドレスを設定します。DNSサーバーは、メールアドレスによって識別されるメールサーバーへメールを発信する時に使用します。



DNSアドレス編集をするには、**DNS1 (DNS1 アドレス)**あるいは**DNS2 (DNS2 アドレス)**ボタンを押し、**EDIT DNS ADDRESS (DNSアドレスの編集)**画面で、◀(左)と▶(右)ボタンを使い、変更したい数字にハイライトを移動した後、+ (アップ)と- (ダウン)ボタンを使って希望の数字を入力します。

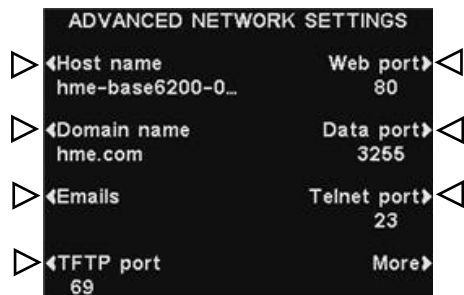
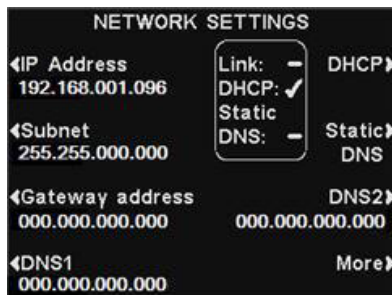
- **Static DNS (静的DNS)** – 一般的に、DHCPが有効で、Static DNS (静的DNS)が無効の場合は、DNSアドレスはDHCPサーバーにより、自動的に供給されます。Static DNS (静的DNS)が有効✓(オン)の場合、DHCPサーバーから供給されるDNS1とDNS2アドレスは、このメニューで設定された静的アドレスによって上書きされます。



Static DNS (静的DNS)を有効/無効にするには、**Static DNS (静的DNS)**ボタンを押し、**Static DNS (静的DNS)**画面で**Static DNS (静的DNS)**ボタンを押し、✓(オン)または-(オフ)をハイライトします。

詳細ネットワークの設定

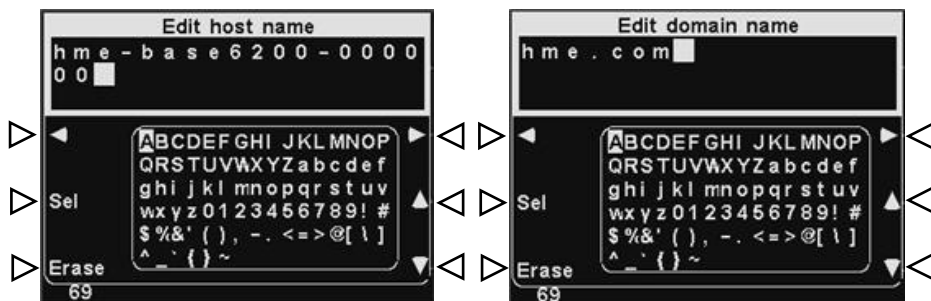
追加の詳細ネットワークの設定を行うには、**NETWORK SETTINGS (ネットワーク設定)**画面で**More (詳細)**ボタンを押します。



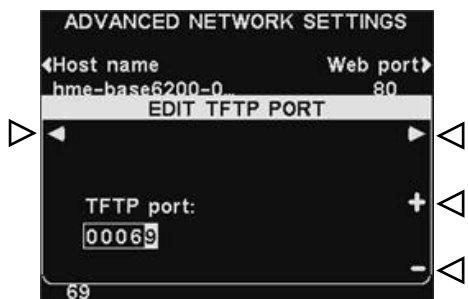
それぞれの設定の確認、あるいは変更をするために、**ADVANCED NETWORK SETTINGS (詳細ネットワーク設定)**画面で、それぞれのボタンを押します。

- **Host name(ホスト名)/Domain name(ドメイン名)** — これらの名称はネットワーク上で、名称によりベースステーションを固有の個体識別に結び付けます。この名称はネットワーク上で、IPアドレスを使用する代わりに、ベースステーションにアクセスすることを可能にします。**NETWORK SETTINGS(ネットワーク設定)**画面でDHCPが有効で、ローカルネットワーク上にDNSサーバーがインストールされており、DHCPサーバーから設定情報が更新されていれ場合だけに、この機能は動作します。

ホスト名、あるいはドメイン名を入力、あるいは変更するために、**ADVANCED NETWORK SETTINGS(詳細ネットワーク設定)**画面で**Edit host name(ホスト名の編集)**あるいは、**Edit domain name(ドメイン名の編集)**ボタンを押します。表示された**Edit...**(...修正)画面で、変更したい現在の名称の文字を**Erase(消去)**ボタンを使用し消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、新しい名称に使用したい文字にハイライト表示を移動し、**Sel(選択)**ボタンを押して入力します。名称入力が終了したら、**Back(戻る)**ボタンを押し、名称を保存します。



- **Emails(メール)** — ベースステーションは、店舗内で警告状態が発生したときに、店舗マネージャーへメールを送信することができます。メールの設定はEmail(メール)/Texting(テキスト)の項目を参照してください。
- **TFTP port(TFTPポート)** — このポートは、ベースステーションへのファイル転送(設定更新と音声ファイル)とベースステーションからのファイル転送(設定ファイルの読み取りだけ)に使用します。ポートの番号は69ですが、必要に応じ変更することができます。0を設定するとこのポートは禁止されます。



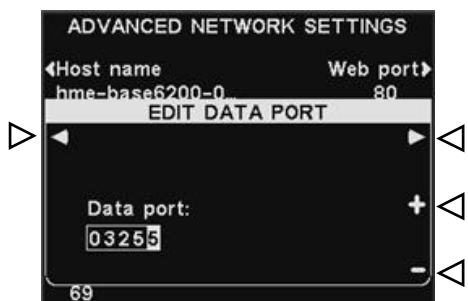
TFTP port(TFTPポート)番号を修正するには、**EDIT TFTP PORT(TFTPポートの修正)**画面で◀(左)と▶(右)ボタンを使い、変更したい数字にハイライトボックスを移動した後、+ (アップ)と- (ダウン)ボタンを使ってハイライトボックス内の数字を変更します。

- **Web port(ウェブポート)** – このポートは制御設定値等を見るために、ベースステーションのウェブページにアクセスするときに使用します。ポートの番号は80ですが、必要に応じ変更することができます。0を設定するとこのポートは禁止されます。



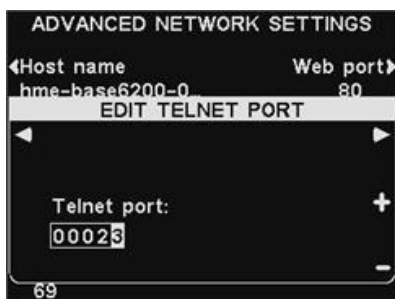
web port(ウェブポート)番号を修正するには、EDIT WEB PORT(ウェブポートの修正)画面で◀(左)と▶(右)ボタンを使い、変更したい数字にハイライトボックスを移動した後、+ (アップ)と- (ダウン)ボタンを使ってハイライトボックス内の数字を変更します。

- **Data port(データポート)** – このポートはTCP/IPソケットを使用し、ベースステーションにHMEサポートコマンドを送るために使用します。ポートの番号は3255ですが、必要に応じ変更することができます。0を設定するとこのポートは禁止されます。

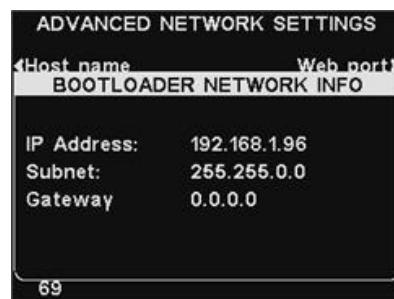
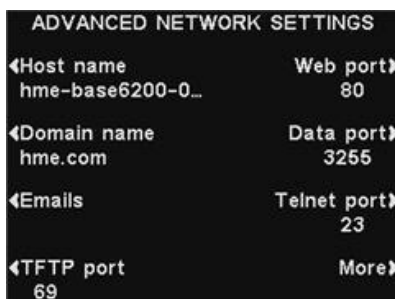


data port(データポート)番号を修正するには、EDIT DATA PORT(データポートの修正)画面で◀(左)と▶(右)ボタンを使い、変更したい数字にハイライトボックスを移動した後、+ (アップ)と- (ダウン)ボタンを使ってハイライトボックス内の数字を変更します。

- **Telnet port(テルネットポート)** – このポートはHMEによる技術サポートの為に予約されています。



- **ADVANCED NETWORK SETTINGS(詳細ネットワーク設定)画面でMore(詳細)ボタンを押すと、BOOTLOADER NETWORK INFO(ブートローダーネットワーク情報)画面が表示されます。**



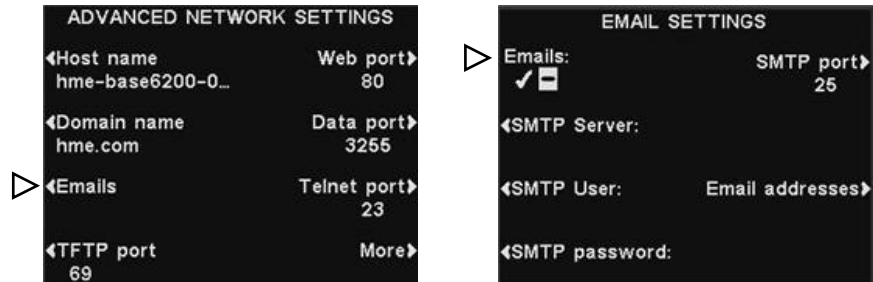
注:

ブートローダー情報はHMEによる技術サポートによって使用されます。

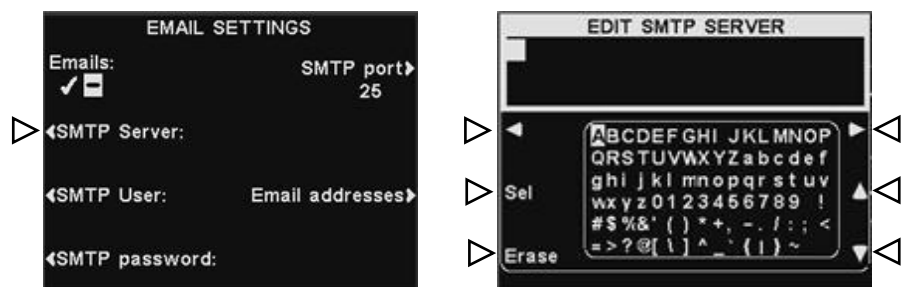
メール/テキスト

ベースステーションは、店舗内で警告状態が発生したときに、店舗マネージャーへメールを送信することができます。この機能を使用するには、使用される企業のIT部門から配布されるネットワーク情報に基づきメール情報を設定しなければなりません。

メール設定を編集するには、**ADVANCEED NETWORK SETTINGS**(詳細ネットワーク設定)画面で**Emails**(メール)ボタンを押します。



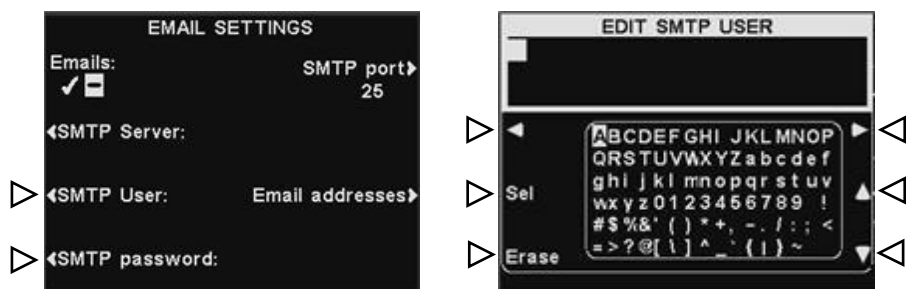
- メール機能のオン、オフを切り替えるには、**EMAIL SETTINGMS**(メールの設定)画面で**Emails**(メール)ボタンを押し、✓(オン)または-(オフ)をハイライトします。
- **SMTP Server**(SMTPサーバー) — これはメールを適切なメールアドレスに配送する**SMTP(mail) sever**(SMTP(メール)サーバー)です。SMTPサーバーのIPアドレスか、そのサーバーのドメイン名のどちらを入力することができます。



SMTPサーバー名を入力、あるいは変更するために、**EMAIL SETTINGMS**(メールの設定)画面で**SMTP Server**(SMTPサーバー)ボタンを押します。変更したい現在の名称の文字を**Erase**(消去)ボタンを使用し消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、新しい名称に使用したい文字にハイライト表示を移動し、**Sel**(選択)ボタンを押して上のハイライトボックスに入力します。

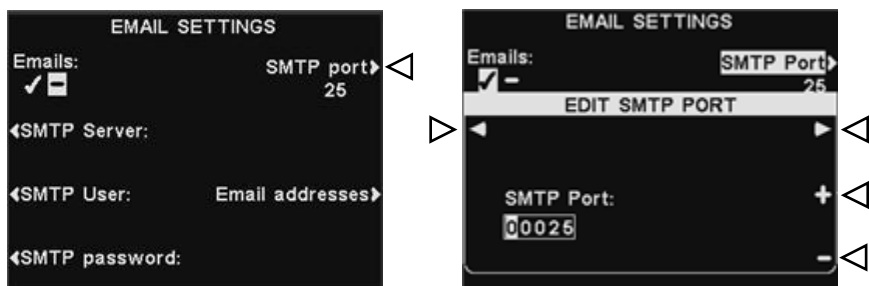
名称入力が終わったら、**Back**(戻る)ボタンを押し、名称を保存します。

- **SMTP User(ユーザー)/Password(パスワード)** – メールをより安全にするため、SMTPサーバーはユーザー名あるいはパスワードを要求します。



SMTPユーザー名あるいは、パスワードを入力、あるいは変更するには、**EMAIL SETTINMGS(メールの設定)**画面で**SMTP User(SMTPユーザー)**あるいは、**SMTP Password(SMTPパスワード)**ボタンを押します。変更したい現在の名称の文字を**Erase(消去)**ボタンを使用し消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、新しい名称に使用したい文字にハイライト表示を移動し、**Sel(選択)**ボタンを押して上のハイライトボックスに入力します。名称入力が終わったら、**Back(戻る)**ボタンを押し、名称を保存します。

- **SMTP Port(SMTPポート)** – SMTPポートは通常 25 に設定されています。しかし、いくつかのメールサーバーは異なったポートを使用します。SMTPポート番号の変更が必要な場合、**EMAIL SETTINMGS(メールの設定)**画面で**SMTP Port(SMTPポート)**ボタンを押します。



SMTPポート番号を変更するには、**EDIT SMTP PORT(SMTPポートの編集)**画面で、◀(左)、▶(右)ボタンを使用し、ハイライトボックスを移動させ、+(アップ)と-(ダウン)ボタンを使ってハイライトボックス内の数字を変更します。

- **Email Address(メールアドレス)** — 送り元アドレスとしてhme-base6200@hme.comが事前に設定されています。
これは、選択された送り先へ送られる警告メールの「From:」の行に表示されるアドレスとなります。**送り先メールアドレスは、EMAIL SETTINMGS(メールの設定)画面でEmails(メール)が✓(オン)に設定されていた場合、警告メールが送信される宛先となります。**
Source Address(送り元アドレス)やDestination(送り先アドレス)を変更するには、EMAIL SETTINMGS(メールの設定)画面でEmail Address(メールアドレス)ボタンを押します。



メールアドレスを入力、あるいは変更するには、**EMAIL SETTINMGS(メールの設定)画面でSource Address(送り元アドレス)あるいは、Destination(送り先アドレス)ボタンを押します。**
変更したい現在の名称の文字を**Erase(消去)**ボタンを使用し消去します。◀(左)、▶(右)、▲(上)、▼(下)ボタンを使用し、新しい名称に使用したい文字にハイライト表示を移動し、**Sel(選択)**ボタンを押して上のハイライトボックスに入力します。

注:

メールアドレスを正確に入力することは大変重要です。もし正しく入力されないと、メッセージセンターの警告メールが正しく動作しません。



アドレス入力が終わったら、**Back(戻る)**ボタンを押し、アドレスを保存します。

PC ナビゲーション

EOS|HD を PC ネットワークで動作するように設定した場合は、ベースステーションから行った設定をご使用の PC でも同じように設定することができます。以下の例では、PC 画面でのシステム設定方法を説明します。

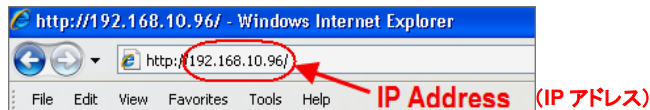
EOS|HD は、ベースステーションの構成設定を表示し、編集することができます。

EOS|HD を PC で開くには、以下の例に示されるように、インターネット ブラウザのアドレスバーに IP Address (IP アドレス) を入力し、キーボードの **Enter** (入力) キーを押します。

注:

IP アドレスを調べるには、ベースステーションで次の通りに操作し、画面で確認して下さい。
.:LANE STATUS (レ
ーン状態) > More (次) >
More (次) > More (次) >
More (次)

NETWORK STATUS	
Link:	- DHCP: ✓
IP Address:	192.168.001.096
Subnet:	255.255.000.000
Gateway	000.000.000.000
DNS1:	000.000.000.000
DNS2:	000.000.000.000
MAC address:	00.00.00.00.00.00



main menu (メインメニュー) から表示される編集するカテゴリを選択します。いくつかのトピックには、サブトピックが選べる Secondary Menu (セカンダリメニュー) バーがあります。

Status	Message Center				Edit buttons (編集ボタン)
	Schedule	Customer Greeter	Reminders	Alerts	
Vehicle detection	Times: Start Stop				
1	07:00:00 22:00:00				Edit
2	10:31:00 01:00:00				Edit
Volume adjust	3 07:00:00 11:00:00				Edit
Register headsets	4 17:00:00 20:00:00				Edit
5	11:01:00 01:00:00				Edit
6	01:01:00 00:00:00				Edit
7	06:00:00 06:00:00				Edit
8	06:00:00 06:00:00				Edit
9	06:00:00 06:00:00				Edit
10	06:00:00 06:00:00				Edit
11	06:00:00 06:00:00				Edit
12	06:00:00 06:00:00				Edit

Edit (編集) ボタンにカーソルを合わせてクリックすると、設定の選択肢が付いた編集バーが表示されます。設定を変更した場合は、**Save (保存)** ボタンを押して変更を保存します。変更を保存しない、または変更を行わない場合は、他のメニュートピックの上にカーソルを合わせてクリックするか、ブラウザ画面の左上の **back (戻る)** 矢印をクリックします。

Status	Message Center				Edit buttons (編集ボタン)
	Schedule	Customer Greeter	Reminders	Alerts	
Vehicle detection	Times: Start Stop				
1	07:00:00 22:00:00				Save
2	10:31:00 01:00:00				Edit
3	07:00:00 11:00:00				Edit
4	17:00:00 20:00:00				Edit
5	11:01:00 01:00:00				Edit
6	01:01:00 00:00:00				Edit
7	06:00:00 06:00:00				Edit
8	06:00:00 06:00:00				Edit
9	06:00:00 06:00:00				Edit
10	06:00:00 06:00:00				Edit
11	06:00:00 06:00:00				Edit
12	06:00:00 06:00:00				Edit

EOS|HD は、次のようなウェブページを提供します。

- **Status(状態)** - レーン状態、メッセージ状態、ベースステーション状態、バージョン情報、ネットワーク情報およびコピーライト権を表示します。
- **Vehicle detection(車両到着)** - ベースステーションに実装されている車両検出ボードの制御とリセットが行えます。
- **Volume adjust(音量調整)** - 各音響機能の音量調整が行えます。
- **Register headset(ヘッドセットの登録)** - ひとつ、あるいは複数のヘッドセットの登録、あるいはヘッドセットの登録消去が行えます。
- **Message center(メッセージセンター)** - 目的の音響設備へ流すメッセージの設定と警告メッセージの場合、メールのメッセージ内容と受信者についても設定が行えます。
- **Store settings(店舗設定)** - インストーラ設定の復元と同様、年月日、時刻、店舗営業時刻、スケジュール時間、パスワード、ピーツオーダーテイカー、VAA、AVC、電話対応ヘッドセット、液晶コントラスト等の店舗パラメータの設定が行えます。
- **Installer settings(インストーラ設定)** - インストーラ設定の保存と工場出荷時設定への復元と同様、レーン設定、オートハンズフリー、言語選択、スピーカーポスト設定、クリアサウンド、電話、ライン入出力経路、無線オプションと車両到着音等の基本動作設定が行えます。
- **Reports(レポート)** - メッセージセンターの設定とヘッドセット状況レポートを確認することができます。
- **Diagnostics(診断)** - HMEのテクニカルサポートが問題発生時に診断用に使用する情報を供給します。
- **Service(サービス)** - HMEのテクニカルサポートによるサポートを受けるときに必要なすべてのバージョン情報とコンタクト先を表示します。

装置の手入れ

適切な装置の扱い方

- ヘッドセットのマイクの位置を調整するには、マイクの先端ではなくマイクベースのブームを持って行います。
- ヘッドセットは、イヤホンではなくヘッドバンドを握って持ち運び、絶対にマイクブームを握って持ち運ばないでください。
- ヘッドセットの装着・取り外しは両手で行ないます。

装置のクリーニング

ヘッドセット

- バッテリーを外します。
- 家庭用洗剤をスプレーして湿らせたスポンジで、バッテリーとヘッドセットをきれいにします。スポンジを使用する前に、スポンジから余分な液体を絞り出します。
- 以下のように、バッテリーとヘッドセットの金属製のバッテリー接点をきれいにします。綿棒の先端をアルコールで湿らせ、余分なアルコールを絞り出します。綿棒で各接点を拭き、乾いたことを確認してから、バッテリーを再び取り付けます。
- 衛生目的のため、ヘッドセットのイヤホンのスポンジ耳あては簡単に交換できます。追加のスポンジ耳あての注文は、各地域の HME セールス担当者までご連絡ください。

バッテリー充電器

バッテリー充電器には、水または油がかからないようにしてください。以下の指示に従って、毎月バッテリー充電器の手入れを行ないます。

- バッテリー充電器からバッテリーをすべて取り外します。
- 湿ったスポンジでバッテリー充電器のケースをきれいにします。スポンジを湿らせて一度絞り、スポンジがずぶ濡れ状態にならないようにします。(装置に直接ではなく)スポンジに家庭用洗剤をスプレーします。スポンジでバッテリー充電器をきれいにし、完全に乾かします。綿棒の先端を消毒用アルコールで湿らせ、綿棒から余分なアルコールを絞り出します。各バッテリーポート内の金属接点を湿った綿棒で拭きます。接点が乾いてから、バッテリーをポートに入れます。

注意:

手入れをする前に、必ずバッテリー充電器の電源を外してください。

問題が発生した場合

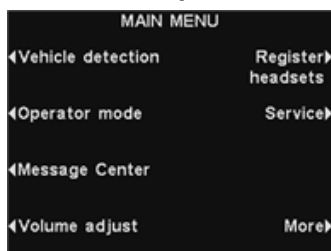
トラブルシューティング

問題	考えられる原因	解決方法
電源ボタンを押すと、ヘッドセットから「Battery failed (バッテリー故障)」というメッセージが聞こえる。	バッテリーに欠陥がある可能性があります。	バッテリーを交換します。HME までお問合せください。*
	ヘッドセットバッテリーの接点が汚れている可能性があります。	アルコールでヘッドセットバッテリーの接点をきれいにします。
電源ボタンを押すと、「Headset failed (ヘッドセット故障)」というメッセージが聞こえる。	ヘッドセットに欠陥がある可能性があります。	別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。*
	ヘッドセットバッテリーの接点が汚れている可能性があります。	アルコールでヘッドセットバッテリーの接点をきれいにします。
ヘッドセットのマイクに向かって話すと、ヘッドセットのイヤホンから自分の音声のエコーが聞こえる。	屋外スピーカーとマイクが適切に設置されていない可能性があります。	スピーカーとマイクがお互いから引き離され、振動を吸収するために周囲に十分なスポンジを詰めてしっかりと取り付けられていることを確認してください。
	音声の送信および/または受信レベルの設定が高すぎる可能性があります。	送信音声レベルをお客様に聞こえる最低限の大きさに設定します。着信音声を快適なレベルに下げます。
	VAA レベルの調整が必要な場合があります。	VAA レベルを調整して、ヘッドセットのマイクに向かって話す時の着信音声レベルを下げます。
		VAA 減衰レベルを調整して、ヘッドセットのマイクに向かって話す時の着信音声レベルを下げます。 注:着信レベルが低すぎると、お客様の声が聞こえなくなります。
ボタン A を押してマイクに向かって話しても、ヘッドセットから音声聞こえない。	ベースステーションの電源がオフになっている可能性があります。	ベースステーションの HME のロゴと他のランプが点灯していることを確認します。
		建物のブレーカーをチェックします。
	ベースステーションの電源が作動していない可能性があります。	電源アダプタが電源コンセントに差し込まれ、ベースステーションのオーディオ回路基板の J3 に接続されていることを確認します。
	ヘッドセットの電源がオンになっていない可能性があります。	ヘッドセットの電源ボタンを押します。電源ランプが点灯し、色が赤から緑に変わることを確認します。
	音量が適切に設定されていない可能性があります。	音量アップとダウンのボタンを使って、音量を調整します。
	バッテリーが低いか、欠陥がある可能性があります。	電源ランプをチェックします。点灯していない場合は、バッテリーを交換します。
	ヘッドセットに欠陥がある可能性があります。	別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。*
チャンネル A または B が作動していない。	ヘッドセットの電源がオンになっていない可能性があります。	ヘッドセットの電源ボタンを押します。電源ランプが点灯し、色が赤から緑に変わることを確認します。
	バッテリーが低いか、欠陥がある可能性があります。	電源ランプをチェックします。点灯していない場合は、バッテリーを交換します。
	ヘッドセットの A または B ボタンが押されても、ベースステーションの A1/A2 または B1/B2 ランプが点灯しません。	別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。*
	ヘッドセットが登録されていない可能性があります。	ヘッドセットを登録します。
送信音が低すぎる。	送信音量の設定が、環境に対して低すぎる可能性があります。	屋外スピーカーの音量レベルを調整します。
送信音がなく、お客様に何も聞こえない。	システムがスピードチーム用に設定されている可能性があります。	スピード チーム設定をチェックします。
	屋外スピーカーまたはベースステーション回路基板のワイヤーが緩んでいる可能性があります。	ベースステーションの車両出現ランプ(車)をチェックします。 ベースステーションの J6 または J14 と屋外スピーカー間の配線接続と、屋外スピーカーをチェックします。
	スピーカーまたはベースステーションが不良品。	HME までお問合せください。*

問題	考えられる原因	解決方法
プッシュトゥーク(PTT)操作で、お客様の声が聞こえない。	システムがスピードチーム用に設定されている可能性があります。	スピード チーム設定をチェックします。
	ベースステーションが正しくないドライブスルーモード(全二重式または半二重式)に設定されている可能性があります。	ドライブスルーモードの設定をチェックします。
ヘッドセットから断続的な声だけが聞こえる。	ベースステーショントランシーバー回路基板の送信機用アンテナのコネクタが緩んでいるか、破損している可能性があります。	アンテナがベースステーションにネジでしっかり固定されていることを確認します。 トランシーバー回路基板左側の ANT1 と ANT2 で、送信機用アンテナケーブルの接続を確認します。HME までお問合せください。*
	回路基板に欠陥がある可能性があります。	HME までお問合せください。*
	VAA レベルの感度が高すぎます。	VAA レベルを下げます。
天井スピーカーまたはヘッドセットからお客様の声は聞こえるが、従業員同士の声が聞こえない。	回路基板に欠陥がある可能性があります。	ボタンを押した時に、ベースステーションのA1/A2 とB1/B2 ランプが点灯するかどうかを確認します。HME までお問合せください。*
	ヘッドセットがに欠陥がある可能性があります。	別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。*
車両がドライブスルーレーンに進入した時に、天井スピーカーまたはヘッドセットから音や声が全く聞こえない。	停電が原因で、車両検出器回路が不安定になっている可能性があります。	車両がドライブスルーレーンにいない時に、車両検出器をリセットします。
	システムがスピードチームに設定されている可能性があります。	スピードチーム設定をチェックします。
	コネクタが緩んでいる可能性があります。	ベースステーションのコネクタすべてをチェックします。HME までお問合せください。*
天井スピーカーまたはヘッドセットからお客様の声が聞こえない。	ベースステーション回路基板のワイヤーが緩んでいる可能性があります。	ベースステーション回路基板のコネクタへのワイヤー差込みをすべてチェックします。
	システムがスピードチーム用に設定されている可能性があります。	スピードチーム設定をチェックします。
	屋外スピーカー、オーディオ回路基板、または車両検出器基板が故障しました。	HME までお問合せください。*
	VAA 減衰の設定が高すぎます。	減衰を減らします。
ヘッドセットからの音声断続的になる。	バッテリーの残量が低い可能性があります。	バッテリーを交換します。
	ヘッドセットに欠陥がある可能性があります。	別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。*
すべてのお客様と会話した後もヘッドセットから声が聞こえる。	ベースステーションがオーバーライドに設定されている可能性があります。	VEHICLE DETECTION(車両検出)メニューで、Mode(モード)設定が Normal(通常)になっていることを確認します。
	車両検出器が作動していない可能性があります。	VEHICLE DETECTION(車両検出)メニューで、Reset Veh Detect(車両検出器のリセット)を選択します。
バッテリー充電器が作動していない。	充電器が接続されていない可能性があります。	充電器が接続されていることを確認します。接続されているにも関わらず作動しない場合は、HME までお問合せください。*
「Registration failed(登録に失敗しました)」というメッセージがヘッドセットから聞こえ、ランプは赤色になっている。	ベースステーションの電源がオンになっていません。	ベースステーションの HME のロゴと他のランプが点灯していることを確認します。ランプが点灯していない場合、電源アダプタが電源コンセントに差し込まれ、ベースステーションのオーディオ回路基板の J3 に接続されていることを確認します。
	登録ボタンが押されていません。	登録の手順を繰り返します。HME までお問合せください。*

サービスコール

HME テクニカルサポートへのお問合せについては、**LANE STATUS(レーン状態)**画面で **Menu(メニュー)** ボタンを押した後、**MAIN MENU(メインメニュー)** 画面の **Service(サービス)** ボタンを押すか、画面ディスプレイ下の **Help(ヘルプ)** ボタンを押します。



ベースステーション内部コントロールとインジケータ

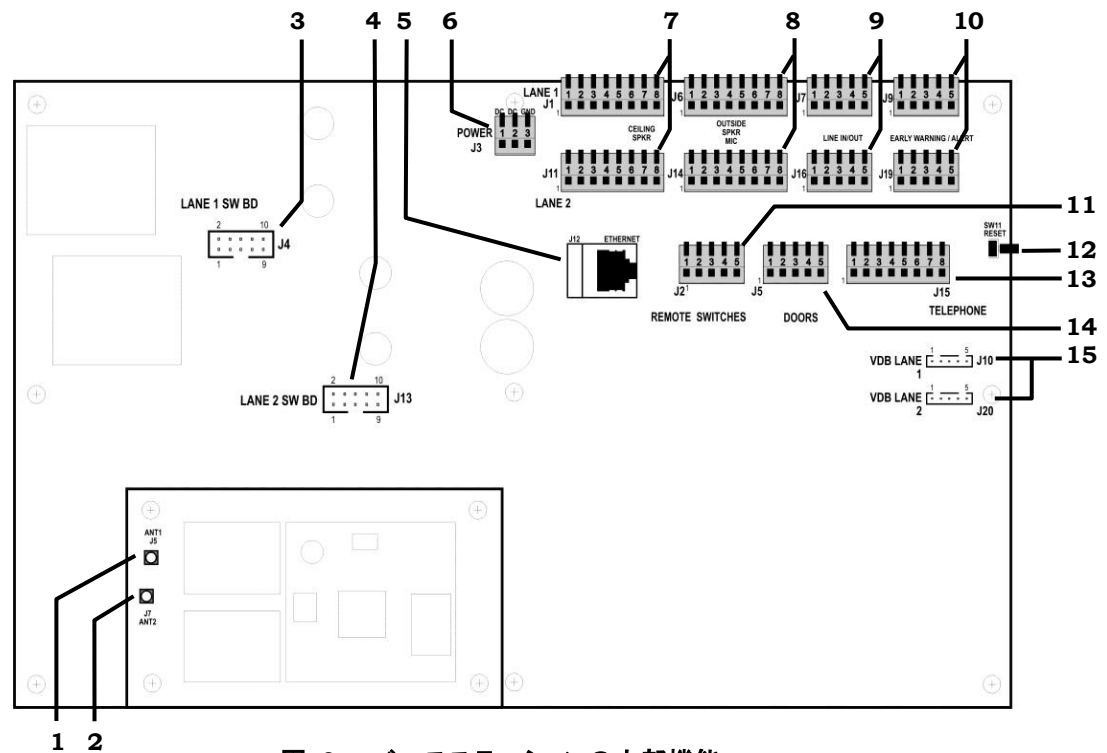


図 9. ベースステーションの内部機能

1. ANT1 アンテナ コネクタ
2. ANT2 アンテナ コネクタ
3. スイッチャー基板コネクタ、J4-レーン 1
4. スイッチャー基板コネクタ、J13-レーン 2
5. イーサネットコネクタ、J12
6. 電源コネクタ、J3
7. 天井取り付け用コネクタ、J1-レーン 1、J11-レーン 2
8. 屋外スピーカー/マイク用コネクタ、J6-レーン 1、J14-レーン 2
9. ライン入/出力用コネクタ、J7-レーン 1、J16-レーン 2
10. 早期警戒 / 警告用コネクタ、J9-レーン 1、J19-レーン 2
11. リモートスイッチ用コネクタ、J2
12. リセットスイッチ
13. 電話用コネクタ、J15
14. ドアコネクタ、J5
15. 車両検出器基板 (VDB) 用コネクタ、J10-レーン 1、J20-レーン 2

診断

HME テクニカルサポートに問題解決のための連絡を取ると、ベースステーションによる自動診断を行うよう指示される場合があります。店舗の設定にアクセスするには、ベースステーションの **LANE STATUS**(レーン状態)画面で **Menu**(メニュー)ボタンを押し、その後、**MAIN MENU**(メインメニュー)で **More**(詳細)ボタンを押します。



ADVANCED MENU(詳細メニュー)で、**Diagnostics**(診断)ボタンを押してから、テクニカルサポート担当者に要請されたテストを選択します。要請された場合は、**More**(詳細)ボタンを押し、追加の詳細診断を行ないます。



装置仕様

ベースステーション

入力電圧	24VDC \pm 2.5V
DC 入力電流	最大 2.5A
オーディオ歪率	最大レベル 5%
屋外スピーカー出力	3 W RMS (8 Ω)
天井スピーカー電源	3 W RMS (8 Ω)
TX/RX 周波数	2400MHz~2483.5MHz
寸法	9.75" (高さ) x 13" (幅) x 3.5" (奥行) (248 mm x 330 mm x 89 mm)
重量	最大 3.25 lbs (1.47 kg)

ヘッドセット

バッテリータイプ	3.6V リチウムイオン
バッテリー寿命	11~13 時間 (公称)
無線周波数	2400MHz~2483.5MHz
重量	3.53 oz (100 g) - バッテリー含む

バッテリー充電器

入力電圧	16.5VAC
充電時間	最大 2.5 時間
寸法	5.56" x 4.25" x 1.69" (141mm x 108mm x 43mm)
重量	12.03 oz (341 g) - ブラケット含む

重要注意事項

FCC規制

本装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。使用の際には、本装置は(1)有害な干渉を発生しない、および(2)望ましくない操作の原因となる可能性のある干渉を含め、いかなる干渉も受信しなければならない、という2つの条件を満たしている必要があります。

注:本装置はFCC 規則パート 15 に定められたクラス A デジタル装置に関する制限項目に基づき所定の試験が実施され、これに適合していることが確認されています。これらの制限項目は、本装置を商業環境で使用した際に、有害な干渉に対する適切な保護を提供するように意図されています。本装置は無線周波数エネルギーを発生、使用し、外部に放射する場合があります。取扱説明書に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉をもたらす原因となる可能性があります。本装置を住宅地で利用すると、有害な干渉を発生する恐れがあり、その場合ユーザーは自らの費用でその干渉を修正する必要があります。

HM Electronics, Inc. によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、本装置を操作するユーザー権限は無効になる場合があります。

ベース送信機に使用するアンテナは、すべての人から少なくとも20cm 離して設定し、他のアンテナや送信機と同じ場所に配置したり、一緒に操作しないでください。

本装置は、以下に示すアンテナまたはアンテナキットで動作するように設計されており、最大ゲインは2dBi です。このリストに載っていない、または2dBi 以上のゲインがないアンテナ/キットを、本装置で使用することは固く禁じられています。必要とされるアンテナのインピーダンスは50Ωです。

1. アンテナ: NEARSON, S181TR-2450R, 2dBi
2. アンテナ キット: HME, EC20 (P/N G28493-1), 0dBi
3. アンテナ キット: HME, EC10 (P/N G27706-1)

Industry Canada (IC)

本装置はライセンスの免除されたRSS標準に準拠します。本装置は(1)干渉を発生しない、(2)装置の望ましくない操作の原因となる可能性のある干渉を含め、いかなる干渉も受信しなければならない、という2つの条件を満たしている必要があります。

本装置はHealth Canada's Safety Codeに準拠しています。本装置の設置者は、RF放射線がカナダ保健省の要件以上で放射されないことを保証しなければなりません。情報はhttp://www.hc-sc.gc.ca/ewh-sem/pubs/radiation/radio_guide-lignes_direct-eng.phpで得られます。

「認証された権限者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、本装置を操作するユーザー権限は無効になる場合があります。」



HM Electronics, Inc. は EOS|HD が R&TTE 指令 1999/5/EC の基本要件とその他の関連規則に準拠していることを宣言します。

Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE)

欧州連合 (EU) WEEE 指令 (2002/96/EC) は、生産者 (メーカー、代理店および/または小売店) に対し、電子製品の耐用年数終了時にその製品を引き取ることを義務付けています。2005 年 8 月 13 日現在欧州で販売済みのほとんどの HME 製品が WEEE 指令の対象となっています。メーカー、代理店、および小売店には、自治体の回収拠点からの回収、再利用、およびリサイクルにかかる費用について、WEEE の要件に指定される割合を支払うことが義務付けられています。

欧州連合におけるユーザーによる WEEE 処分に関する指示

以下に示す記号は、当該製品が 2005 年 8 月 13 日以降に販売されたものであり、他の廃棄物と一緒に処分してはならないことを示します。その代わりに、WEEE のリサイクルに指定された回収場所に持ち込み、廃棄物を処分することはユーザーの責任となっています。廃棄物の分別収集とリサイクルは、天然資源の節約に役立ち、人の健康および環境を保護する方法でリサイクルされます。リサイクルのために廃棄物を持ち込める場所については、各自治体、家庭廃棄物処理業者、または製品の購入元である販売者までお問い合わせください。



モデル番号の規定

EOS|HDベースステーション、BASE6200は1401のモデル番号で規定されます。

EOS|HD ヘッドセット、HS6200は1402のモデル番号で規定されます。

EOS|HDベルトパック、COM6200は1403のモデル番号で規定されます。

Brazil

"Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos técnicos aplicados" Para maiores informações, consulte o site da ANATEL

WWW.anatel.gov.br



China

BASE6200 (1401) Regulatory ID number — CMIIT ID: 2014DJ4271

HS6200 (1402) Regulatory ID number — CMIIT ID: 2014DJ4272

Indonesia

BASE6200 (1401) Regulatory ID number — 37991/SDPPI/2014 3710

HS6200 (1402) Regulatory ID number — 38040/SDPPI/2014 3710

Korea

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음 이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

Russia



BASE6200 (1401) Regulatory ID number — RU C-US.ME06.B.01386

HS6200 (1402) Regulatory ID number — RU C-US.ME06.B.01387

Taiwan

注意!

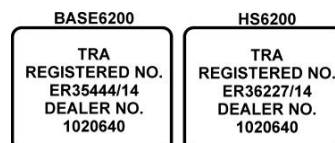
依據低功率電波輻射性電機管理辦法第十二條經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功。

第十四條低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信規定作業之無線電信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

Thailand

This telecommunication equipment conforms to NTC technical requirements.

UAE



日本

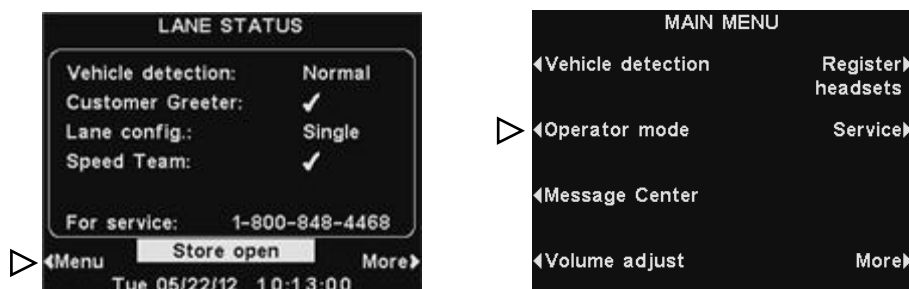
ベースステーション BASE6200(1401) TELEC認証番号: 003WWA101350

ヘッドセット HS6200(1402) TELEC認証番号: 003-140178

複数レーン動作

Dedicated Mode(専用モード)

複数レーンの動作の時だけ **OPERATOR MODE(オペレーターモード)**画面に **Active dedicated mode(専用モードの有効)**設定が表示されます。専用モードに設定されると、そのレーンに設定されているヘッドセットだけに車両到着音とお客様の音声聞こえます。



専用モードに設定するには、LANE STATUS(レーン状態)画面で **Menu(メニュー)**ボタンを押し、MAIN MENU(メインメニュー)画面で**Operator mode(オペレーターモード)**ボタンを押します。

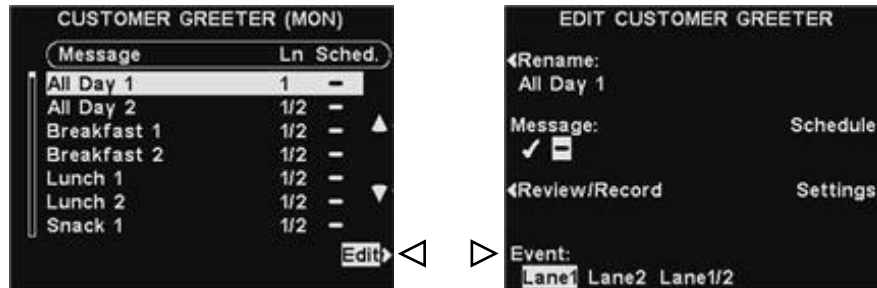


OPERATOR MODE(オペレーターモード)画面で、**Activate dedicated mode(専用モードの有効化)**ボタンを押して **✓(オン)**をハイライトします。通常操作に戻す場合は、**- (オフ)**をハイライトします。**Dedicated HELP(専用モードヘルプ)**ボタンを押すと、説明文(英語)が表示されます。

複数レーンメッセージセンター設定

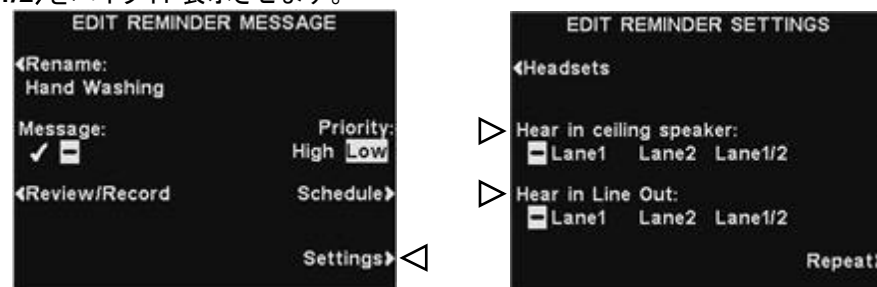
顧客歓迎メッセージ

複数レーンの動作の時、顧客歓迎メッセージの再生を、レーン 1 だけ、レーン 2 だけ、レーン 1、2 両方、のいずれかに設定することができます。これを行うには、**CUSTOMER GREETER**(顧客歓迎メッセージ)画面で **Edit**(編集)ボタンを押し、**Event**(項目)ボタンを押し、Lane 1(レーン 1)、Lane 2(レーン 2)、あるいは Lane 1/2(レーン 1/2)をハイライト表示させます。



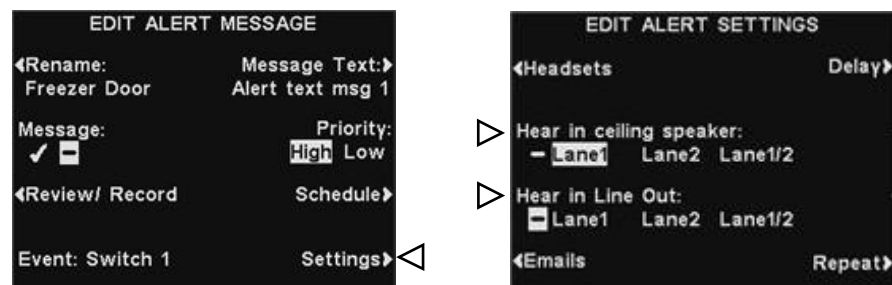
リマインダーメッセージ

複数レーンの動作の時、天井スピーカーやライン出力に、リマインダーメッセージ再生を、レーン 1 だけ、レーン 2 だけ、レーン 1、2 両方、のいずれかに設定することができます。これを行うには、**EDIT REMAINDER MESSAGE**(リマインダーメッセージの編集)画面で **Settings**(設定)ボタンを押し、**EDIT REMAINDER SETTINGS**(リマインダーメッセージの設定)画面で、**Hear in ceiling speaker**(天井スピーカーからの音声)ボタンおよび、**Hear in Line Out**(ライン出力への音声)ボタンを押し、Lane 1(レーン 1)、Lane 2(レーン 2)、あるいは Lane 1/2(レーン 1/2)をハイライト表示させます。



警告メッセージ

複数レーンの動作の時、天井スピーカーやライン出力に、警告メッセージ再生を、レーン 1 だけ、レーン 2 だけ、レーン 1、2 両方、のいずれかに設定することができます。これを行うには、**EDIT ALERT MESSAGE**(警告メッセージの編集)画面で **Settings**(設定)ボタンを押し、**EDIT ALERT SETTINGS**(警告メッセージの設定)画面で、**Hear in ceiling speaker**(天井スピーカーからの音声)ボタンおよび、**Hear in Line Out**(ライン出力への音声)ボタンを押し、Lane 1(レーン 1)、Lane 2(レーン 2)、あるいは Lane 1/2(レーン 1/2)をハイライト表示させます。



EOS|HD メニューのアクセス制御

EOS|HD メニューは店舗の人々により、簡単にアクセスできるように設計されていますが、権限を有しない方による変更を防ぐため、ユーザーパスワードにより、次のように保護されます。

- ユーザーパスワードが**店舗設定**で設定されている場合、店舗設定メニュー、ネットワーク設定メニュー、メッセージセンターメニューおよび音量設定メニューは保護されます。これらのメニューはユーザーパスワード、HME パスワード(ユーザーパスワードを忘れたときに HME から配布されるもの)を使用してアクセスすることができます。
- 一旦パスワードが入力されると、他の保護されたメニューへアクセスするときには、ボタン操作が実行されている限り、パスワードの入力は求められません。ボタン操作が 5 分以上行われなかった場合、保護されたメニューにアクセスする場合は、再度パスワードの入力が求められます。これはまた、ウェブページでのアクセスにも適用されます。

要求パスワード	メニュー
無し	Status screens (状態表示) Detector menus (検出器メニュー) (Speed team (スピードチーム)、Reset vehicle detectors (車両検出器のリセット) Registration menus (ヘッドセット登録メニュー) Diagnostics menus (診断メニュー) Service screen (サービス画面)
ユーザーパスワード	Store settings menus (店舗設定メニュー) Network settings menus (ネットワーク設定メニュー) Message Center menus (メッセージセンターメニュー) Volume adjustment menus (音量調整メニュー)

パスワードが求められる場合、以下の画面のどちらかが表示されます。

注:

いくつかの設定は、設置者あるいは HME から権限移譲された人だけが使用できるインストーラーパスワードによって保護されています。



パスワードを入力するには、**Enter Password (パスワード入力)** フィールドのハイライト表示を、◀(左)または ▶(右) ボタンを使い移動させ、+(アップ) ボタンを使用し、アルファベットの文字を選択し、-(ダウン) ボタンを使用して、数字を選択します。パスワードの文字を入力する毎に、▶(右) ボタンを使いハイライト表示されているボックスを次の位置に移動し、次の文字を入力します。新しいパスワードで入力を最初からやり直す場合は、**Clear All (すべてを消去)** ボタンを押します。パスワード全体を入力した後、**Continue (継続する)** ボタンを押します。

HME EOS|HD メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

操作方法

HME EOS|HD メッセージセンターのセットアップは、以下の 3 つの手順に従って簡単に行うことができます。

手順 1: 顧客歓迎メッセージ、従業員へのリマインダー、警告メッセージを選択する

ヒント:1 度に 2 つか 3 つのメッセージのみを計画し、顧客と従業員の認識度を高めるためにしばしば変更します。HME EOS|HD 提供の一般的メッセージから選択するか、店舗独自のメッセージを録音します。(事前にプログラムされているメッセージのリストについては、EOS|HD 操作指示ガイドの 16 ページを参照してください。)

- ❖ お客様がメニューボードに到着した時に、お客様に流れる 3 つか 4 つの顧客歓迎メッセージ
- ❖ 手洗いなどの、重要なタスクを従業員に念押しするために流す 2 つか 3 つのリマインダーメッセージ
- ❖ 裏口が開いたままになっているなど、早急に対応する必要がある時に、それを従業員に知らせる 1 つか 2 つの警告メッセージ

手順 2: メッセージの再生時期と場所を判断する

- ❖ 顧客歓迎メッセージは、メニューボードのスピーカー、ヘッドセット、および天井スピーカーから再生されます。リマインダーと警告メッセージは、ヘッドセットおよび/またはグリルスピーカーのいずれか、あるいはすべてから再生されます。初期設定では、リマインダーと警告メッセージはすべてのヘッドセットに再生され、最も一般的に使用されます。
- ❖ リマインダーメッセージを一日中再生する場合は、繰り返しの間隔を設定することができます。たとえば、繰り返しの間隔を 60 分に設定すると、手洗いタスクのリマインダーメッセージは 60 分ごとに再生されます。
- ❖ 特定の時間帯に何かが発生した場合に通知を受けたい場合は、それを知らせる警告メッセージに遅延を設定することができます。たとえば、裏口が 5 分間開いたままになっているときの警告メッセージには遅延を設定します。

手順 3: 手順 2 のメッセージにメッセージスケジュールを作成する

- ❖ 顧客歓迎メッセージを特定時間の業務と共に変化するようにスケジュールすることも可能です。たとえば、1 つのメッセージを朝食の時間帯に、別のメッセージを昼食と夕食の時間帯に、そして 3 つ目のメッセージを 特別メニュー向けに 1 日中スケジュールすることができます。

ヒント:初期設定の STORE CLOSED (閉店) メッセージは、閉店後に到着した車に自動的に再生され、開店時に再生されなくなります。この機能を使用するには、必ず店舗の営業時間を正しく設定してください。(EOS|HD 操作指示ガイドの 35 ページを参照してください。)

- ❖ リマインダーと警告メッセージは一般的に、一日中再生されるようにスケジュールされ、遅延や繰り返しの機能を使用します。
- ❖ 1 週間毎日同じスケジュールを組むことが一般的ですが、メッセージのスケジュールは曜日によってカスタマイズすることも可能です。

HME EOS|HD メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

プランの例

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	ヘッドセット	天井スピーカー	遅延
1	朝食	06:00	11:00	✓ (オン)	✓ (オン)	03
2	昼食/夕食	11:00	20:00	- (オフ)	- (オフ)	00
3	ドリンクのお勧め	06:00	01:00	✓ (オン)	✓ (オン)	05
4						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	ヘッドセット	天井スピーカー
1	手洗い	06:00	01:00	1 時間	すべて	はい
2	殺菌剤の交換	06:00	01:00	4 時間	すべて	はい
3						

警告メッセージ

	名前	START TIME	STOP TIME	REPEAT	DELAY	HEADSETS	CEILING SPKR
1	裏口 (日中)	06:00	01:00	5 分	5 分	すべて	はい
2	裏口 (夜間)	20:00	01:00	5 分	1 分	すべて	はい
3							

スケジュール

	開始時間	終了時間	注
1	06:00	11:00 am	顧客歓迎 #1
2	11:00	20:00 pm	顧客歓迎 #2
3	06:00	01:00 am	顧客歓迎 #3、リマインダー #1 と #2
4	06:00	20:00 am	警告 #1
5	20:00	01:00 am	警告 #2
6			

注: 最大 12 件の異なる時間帯スケジュールが設定できます。

HME EOS|HD メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

警告メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1							
2							
3							
4							

スケジュール

	開始時間	終了時間	メモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

HME EOS|HD メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

警告メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1							
2							
3							
4							

スケジュール

	開始時間	終了時間	メモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

HME EOS|HD メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

警告メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1							
2							
3							
4							

スケジュール

	開始時間	終了時間	メモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

HME EOS|HD メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

警告メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1							
2							
3							
4							

スケジュール

	開始時間	終了時間	メモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

HME EOS|HD メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	グリルスピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	ヘッドセット	グリルスピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

警告メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	遅延	ヘッドセット	グリルスピーカー
1							
2							
3							
4							

スケジュール

	開始時間	終了時間	メモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

HME EOS|HD メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	グリルスピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	ヘッドセット	GRILL SPKR
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

警告メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	遅延	ヘッドセット	グリルスピーカー
1							
2							
3							
4							

スケジュール

	開始時間	終了時間	メモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			